

独立行政法人国立少年自然の家に係る業務の実績に関する評価（平成13年度）

全体評価

評価項目	評価の結果
○ 事業活動	・ <u>主催事業について</u> 各施設の実情や立地条件に基づき、長期の異年齢交流、環境教育、不登校等に対応した事業やこれらのプログラム開発に重点的に取り組むとともに、少年教育指導者を対象とした事業など、少年の今日的課題に対応した事業を充実し成果を上げていますが、今後、14施設等とのネットワークを生かし、より体系的な事業の実施を目指して取り組むことを期待します。 ・ <u>受入事業について</u> 少子化が進行する中、積極的な広報活動に努め、冬季の開散期における利用者を増加させることにより年間の目標稼働数を達成できたことは評価できます。また、利用者サービスの向上を図るため、各施設が積極的に接遇研修や利用申込みの簡略化などに努めるなどの成果がみられましたが、引き続き利用者サービスの向上のため、きめ細やかに利用者のニーズを把握することを期待します。
○ 業務運営	・ <u>施設の連携体制について</u> 全国に分散した14施設が統合した法人化1年目として、組織の基礎となる諸規則の制定や事務の一元化のための各種情報システムなどを整備したことにより、連携体制の基礎を築いたことは高く評価できます。また、各施設の経験やノウハウを共有するためのネットワーク化が図られてきており、それをさらに生かすような連携体制を強化することが期待されます。 ・ <u>職員の意識改革について</u> 独立行政法人化後、職員の方々の意識が大幅に変わり、個々が変革の必要性を理解していることはとても素晴らしいことと評価します。
1 財務	・ <u>業務の効率化について</u> 法人本部による支払い事務の一元化など、事務の集中管理による合理化に努めるとともに、省エネルギーに向けた職員の取組みや利用者に対する光熱水料の節減への協力依頼等を行い、稼働数の大きな増加をみながら目標を大きく上回る節減が達成されたことは評価できます。 ・ 外部委託については、法人としての委託の方針等をより明確にし、各施設の実情に応じた委託を推進するとともに、外部資金の導入についても積極的な受入れに努められることが期待されます。
2 人事	・ <u>人事管理について</u> 民間団体から3名の職員を登用するなど法人化を生かした人事交流を行い、事業運営の核となる職員の充実を図られたことは評価できます。 ・ 今後は、法人内における専門性の高い職員の養成、各施設における適正な人員配置などに向けて積極的な取組みが期待されます。
3 その他	・ <u>施設・設備等の整備について</u> 限られた予算の中で、効率的な施設・設備の整備に努めていますが、今後、施設の老朽化や時代のニーズに対応するための施設整備を特に自然環境に配慮しながら進めることが望まれるとともに、身障者への配慮や分煙への取組みに留意した施設運営について一層努力することを期待します。

事業活動全体、業務運営（財務、人事等）など法人の業務全体にわたる横断的な観点から、項目別評価の結果を踏まえつつ、法人の業務実績について記述式により評価する。

評価項目	評価の結果
総 評	都市化、少子化などの社会環境の変化や地域の教育力の衰退などにより、少年の周辺から豊かな自然環境が喪失し、少年が集団で行動したり、多様な人々とかかわる機会が非常に少なくなってきました。この結果、少年の直接体験の不足や対人関係能力、規範意識の低下などが言われています。このような中、豊かな自然環境の中で、多くの少年に集団での直接体験の機会や、多様な人々とかかわりなどの機会を提供できる国立少年自然の家は、わが国における次代を担う少年の育成に大きな意義を持っています。少年の体験活動や奉仕活動の重要性が社会的に高まる中、国立少年自然の家は、学校では得ることが難しい自然体験や集団での宿泊体験などを通して、自ら気づき、主体的に学ぶ意欲を喚起するなど、「生きる力」を育む場として今日、大きな役割を果たしております。わが国における少年教育の中心的な施設として、国立少年自然の家は法人化1年目としての業務運営を着実に進めており、今後もわが国における少年教育の先導的役割を果たしていくことが大いに期待されます。

項目別評価及び上記の横断的な評価を総合し、法人の活動全体についての総評を記述する。

項目別評価

○業務運営の効率化に関する事項

1ページ

中期計画の各項目	評価項目		評価基準			評価に係る実績	評 定	
	指 標		A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置								必要に応じて評価を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
1 全国に分散した施設を機能的に統合して連携体制を整備し、事務の集中管理による簡素化・効率化を図る。	施設の連携体制の状況		・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評価を決定する。				A	・全国各地の14施設を統合した法人化1年目として、諸規則の制定や電算システム等の取入れによる事務の一元化に成果がみられました。 ・法人内に「業務改善プロジェクト」を設置し、業務の見直しに向け積極的な対応が図られていました。 ・今後も事務の効率化がより推進されるよう引続き努力が望まれます。
	事務の集中管理による簡素化・効率化状況					・人事・会計事務及び利用統計の一元化と進捗状況 ・事務の簡素化、効率化に向けての取組状況など (別添資料1)		
2 光熱水料の節減、外部委託、情報化、調達方法、支払窓口の一本化等の見直しを進める。	業務の効率化状況		・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評価を決定する。				A	・職員への省エネルギーに対する意識啓発、利用者への節電・節水の協力依頼など、業務の効率化に向けて着実な成果がみられました。 ・外部委託については、法人としての委託の方針や基準等をより明確にするとともに、各施設の実情に応じて効果的な業務運営が行われるよう引続き進めていくことが望まれます。
	光熱水料の節減状況					・光熱水料の節減実績 ・その他 節減努力の実施状況 各種減免措置の活用状況 省エネ製品の調達状況 など (別添資料2)		
	光熱水料の節減率 目標：1% (前年度光熱水料 - 当該年度光熱水料) / 前年度光熱水料 注) 利用者数の増減を勘案する		1.5%以上	1.0%以上 1.5%未満	1.0%未満	(12年度光熱水料実績 - 13年度高熱水料実績) / 前年度光熱水料 (258,041,574円 - 247,689,830円) 4.0% 258,041,574 4% (別添資料2)		
	外部委託の見直し状況					・外部委託すべきかどうかの業務の見直し状況 ・各施設の実情に即した外部委託への進捗状況 など (別添資料3)		
	事務の情報化の状況					・事務能率向上方策等の実績 文書処理・管理業務の情報化 ペーパーレス化の進捗状況 電算システムの改善状況 など (別添資料4)		
	物品の調達方法の改善状況 注) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」への対応に配慮する					・調達方法の改善実績 ・契約方法の改善状況 ・まとめ買いの進捗状況 など (別添資料5)		
	1%の業務の効率化 目標：1% (運営費交付金予算額 ÷ 0.99 - 運営費交付金決算額) ÷ (運営費交付金予算額 ÷ 0.99) 注) 新規・拡充分を除く 注) 目的積立金への積立分を除く		1.5%以上	1.0%以上 1.5%未満	1.0%未満	(運営費交付金予算額 ÷ 0.99 - 運営費交付金決算額) ÷ (運営費交付金予算額 ÷ 0.99) (4,329,041千円 ÷ 0.99 - 4,315,414千円) ÷ (4,329,041千円 ÷ 0.99) 1.3% 1.3%		

A：中期計画を十分に履行し、中期目標に向かって着実に成果を上げている。

B：中期計画をほぼ履行し、中期目標に向かって概ね成果を上げている。

C：中期計画を十分には履行しておらず、中期目標達成のためには業務の改善が必要。

中 期 計 画 の 各 項 目	評 価 項 目		評 価 基 準			評 価 に 係 る 実 績	評 定	
	指 標		A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置								必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
1 少年の団体宿泊訓練に関する事項 ・主催事業 主催事業を計画するに当たり、継続事業においては、前回の事業の成果を踏まえ、継続していく必要性や事業のねらいを明確にする、新規事業においては、地域の実情に照らし、現代的課題とは何かについて、的確な情報を収集、調査分析を行い、その展開方法について各分野の専門家の意見を取り入れるなど、もっとも成果が上がるような計画を策定する。 また、計画策定に当たり、過去の同種の事業の参加人数や指導者の許容範囲を勘案しながら適性な事業規模とする。 。事業終了後において、当初の目的が達成されたか、報告書を作成し、結果や評価等の調査研究を行う。 以上のことから中期目標期間中に、地域・課題等を考慮し、以下の主催事業を計画的に実施する。 (1)各施設の実情や立地条件等に基づいた、独自性を発揮した事業の企画、適切な目的・内容・方法・対象・時期などを踏まえた事業の実施、公立少年自然の家等に対する事業内容・運営手法などの成果の普及、事業評価に基づく課題の改善などを促す。 また、自然体験活動、ボランティア活動、環境学習、異年齢交流など、適切な手法で事業の目的を達成するよう促す。 なお、事業の効果をより高めるために、施設周辺の自然環境の活用、関係機関等との連携、地域の課題への対応などにも留意を促す。 (2)平成14年度から実施の完全学校週5日制に対応するため、これまでの学校週5日制対応事業の成果をまとめ、平成14年度以降の学校週5日制対応事業について、その在り方を検討し、検討結果に沿って実施し、その成果を公立少年自然の家等に普及する。 (3)調査研究・開発体制を整え、新しい活動プログラムの開発・実施・普及計画を立て、新規プログラムを開発し、公立少年自然の家等に普及する。 (4)主催事業参加者から高い評価が得られるよう、各施設において事業の企画、参加者への対応等が適切に行われるよう促す。	主催事業の実施状況		・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			A	・年度計画に沿って新規事業やプログラム開発に意欲的に取り組んでおり、多くの成果がみられました。 ・特に少年の現代的課題等の中で、異年齢交流、環境教育、不登校対応事業等の喫緊の課題に重点的に対応するなど、法人としての主催事業に対するビジョンが明確であり、高く評価できます。	
	現代的課題、今日的な少年教育に関する事業への取組状況							・事業計画 ・事業実施実績 ・事業評価 ・事業参加者のアンケート結果 など (別添資料6)
	アンケート調査による参加者の満足度 目標：80％以上		90%以上	80%以上 90%未満	80%未満			93.3% (別添資料6)
	学校週5日制対応事業についての取組状況							・事業計画 ・事業実施実績 ・事業評価 ・事業参加者のアンケート結果 など (別添資料7)
	アンケート調査による参加者の満足度 目標：80％以上		90%以上	80%以上 90%未満	80%未満			93.7% (別添資料7)
	プログラムの開発及び普及状況							・プログラムの開発実績 ・公立少年自然の家等への普及実績 ・利用団体等への普及実績 ・開発体制の整備実績 など (別添資料8)
事業成果及び調査研究の取りまとめ状況と関係機関への普及状況					・事業成果、調査研究の取りまとめ実績 ・事業成果の普及実績 ・調査研究の公表実績 など (別添資料9)			

中 期 計 画 の 各 項 目	評 価 項 目		評 価 基 準			評 価 に 係 る 実 績	評 定	
	指 標		A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
2 少年の団体宿泊訓練のための利用に供するとともに、少年の団体宿泊訓練についての指導及び助言に関する事項 ・ 受入事業 (1)施設を、少年の健全育成を目的として学校、団体、グループなどが実施する、少年及び少年教育に携わる指導者を対象にした団体宿泊訓練のための利用に供する。 (2)広報活動を積極的に行い、これまで青少年教育施設を利用したことのない団体を受け入れる。 (3)公立施設では受入れが困難な大規模（２００人超）利用・長期利用（５日以上）及び新規団体の利用などにも配慮しつつ、毎年度１３０万人程度の利用者を受け入れる。 (4)利用団体が利用目的を達成するために必要な指導・助言の在り方を検討し、事前の利用相談等において適切な指導・助言を行い、全利用団体の最低７０％を超える利用 団体が目的を達成するよう事業を行う。 (5)少年自然の家職員に対し、指導能力向上、企画能力向上、接遇の向上など、施設内外での研修機会を与える。 (6)利用団体の活動支援のための外部研修指導員、施設利用者に対して様々な援助を行うボランティアなどの確保及び資質・指導力向上のための研修機会を設け、利用団体のニーズに即した支援を行う。	受入事業の実施状況		・ 法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			1,346,962人 (別添資料１０)	A ・ 積極的な広報活動により、閑散期の利用者増に努力し年間の目標利用者数を達成するなど、多くの成果がみられました。 ・ 特に、少子化により毎年２％強の児童・生徒数が減少しているにもかかわらず、室戸少年自然の家においては、広報など様々な取組みにより、前年度比２２％増の利用者数を達成されたことは高く評価できます。 ・ また、利用者サービスの質の向上を図るため、各施設が接遇研修や利用申込みの簡略化などに努めるなど、取組の成果が評価できます。 ・ 今後も各施設が、ホームページの充実を図るなど、広報活動をより進めていくことが望まれます。	
	年間の稼働数 目標：１３０万人程度		143万人以上	130万人以上 143万人未満	130万人未満			
	新規利用団体受入れに対する取組状況							・ 新規利用団体の利用実績 ・ 新規利用団体確保のための広報実績 など (別添資料１０)
	指導・助言に対する満足度 目標：７０％以上		80％以上	70％以上 80％未満	70％未満			・ 利用相談（事前打合せ） 91.8％ (別添資料１１)
	アンケート調査による利用者の満足度 目標：７０％以上		80％以上	70％以上 80％未満	70％未満			生活面での満足度 90.3％ 活動面での満足度 91.2％ 職員への満足度 90.7％ 利用目的の達成度 98.8％ (別添資料１１)
	利用者サービス向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況							・ 研修実績 ・ 利用団体のアンケート結果 など (別添資料１２)
	利用団体の活動支援のための人材等の確保及び資質等向上のための研修実施状況							・ 人材確保への取組実績 ・ 研修の実施実績 ・ 利用団体のアンケート結果 など (別添資料１２)

中期計画の各項目	評価項目	評価基準			評価に係る実績	評 定	
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
3 少年の団体宿泊訓練に関し、少年教育指導者の研修に関する事項 ・主催事業 (1)特に専門性の高い、少年教育に携わる指導者の資質向上を目的とした、次のようなブロック規模・全国規模の研修事業や地域課題に対応した研修事業を実施する。 ア 少年団体指導者、施設職員等を対象にした研修 イ ボランティア養成研修 ウ 外部研修指導員を対象にした研修 エ 指導者の企画力や専門性等を高める研修	少年教育指導者研修の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。				B	・個々の施設においては、少年教育指導者研修、ボランティア養成研修などを実施しているところですが、法人全体として各種指導者養成事業を体系的に実施し、その充実を図っていくことが望まれます。
	少年団体指導者、施設職員等を対象とした研修の実施状況				・事業計画 ・事業実施実績 ・事業評価 ・事業参加者のアンケート結果 など (別添資料13)		
	アンケート調査による参加者の満足度 目標：80%以上	90%以上	80%以上 90%未満	80%未満	93.0% (別添資料13)		
	ボランティア養成研修の実施状況				・事業計画 ・事業実施実績 ・事業評価 ・事業参加者のアンケート結果 など (別添資料14)		
	アンケート調査による参加者の満足度 目標：80%以上	90%以上	80%以上 90%未満	80%未満	91.8% (別添資料14)		
4 前項の業務に附帯する事項 (1)施設・設備の充実 主催事業参加者や利用団体の意見やニーズを把握し、団体宿泊訓練が効果的に行われるような施設・設備の計画的充実を図る。 (2)広報活動の充実を図るための計画 刊行物等広報関係資料の配布など、事業の広報活動及び実施事業の成果の普及・啓発等を各施設の実状等を踏まえて効率的に行う。	附帯業務の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。				附帯する事項であることから、主業務の各項目の評定に含める。 施設・設備の整備状況に含む。	
	施設・設備の計画的充実に関する取組状況				・施設・設備の整備計画 ・施設・設備の整備実績 など		
	広報活動の充実に関する取組状況				・広報活動への取組実績 ・事業成果の普及・啓発の実績 ・ホームページの取組状況 (別添資料15)		

中期計画の各項目	評価項目	評価基準			評価に係る実績	評 定	
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
予算、収支計画及び資金計画							必要に応じて評価を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
1 期間全体に係る予算 2 期間全体に係る収支計画 3 期間全体に係る資金計画	収入の確保等の状況 自己収入の受入状況 目標：100% 自己収入決算額 / 自己収入予算額 外部資金の受入状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評価を決定する。 110%以上 100%以上 100%未満 110%未満 自己収入決算額 / 自己収入予算額 3,219千円 ÷ 3,659千円 = 0.88% 88% 自己収入予算額と自己収入決算額との差は独立行政法人移行時における評価額を基礎に貸付料を算出したため (別添資料16) ・受託事業等受入れ状況 など 受託研究事業 1件 2,391千円 (別添資料16)			B		・外部資金については、今後も積極的な受入に努めていくことが望まれます。
短期借入金の限度額							
1 短期借入金の限度額 7億円 2 想定される理由 運営費交付金の受け入れの遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借入することも想定される。	短期借入金の借入状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評価を決定する。			・短期借入金の借入実績と効果 短期借入金の借入理由 など なし		
重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画							必要に応じて評価を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
計画の予定なし	重要財産の処分等状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評価を決定する。			・重要な財産の譲渡等の実績 など なし		
剰余金の使途							必要に応じて評価を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
主催事業、受入れ事業の充実 必要な施設設備の充実	剰余金の使用等の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評価を決定する。			・剰余金による事業実施実績及び効果 剰余金による事業実施理由 など なし		

中期計画の各項目	評価項目		評価基準		評価に係る実績	評 定	
	指 標		A	B	C	A B C 評 定	留 意 事 項
その他文部科学省省令で定める業務運営に関する事項							必要に応じて評定を出すに至った背景や理由、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述
1 施設・設備に関する事項 (1) 研修・宿泊施設等の新設、改修、増設計画等 防災、研修の充実、快適な食・住環境の確保等の観点から、必要な施設設備の新設、改修、増設等を計画的に進める。 (2) 高齢者及び身体障害者に配慮した施設整備の推進 「高齢者及び身体障害者等が円滑に利用できる特定建築の促進に関する法律」等の基準に従い、高齢者等が円滑に施設・設備を利用できるような配慮を行う。	施設・設備の整備状況		・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			A	・限られた予算の中で利用者の快適な食・住環境の確保を図るための施設整備に努力がみられました。 ・施設・設備の整備については、身体障害者への配慮や分煙への取組みを更に進めるとともに、環境にも配慮し、時代のニーズに対応した計画的な整備をより一層進めていくことが望まれます。
	防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った施設設備の整備状況				・施設設備の整備計画 ・防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った整備の実績 ・その他 施設に対するアンケート結果 など (別添資料 17)		
	高齢者等に配慮した施設の整備状況				・施設設備の整備計画 ・高齢者及び身体障害者等に配慮した整備の実績 ・その他 施設に対するアンケート結果 など (別添資料 18)		
2 人事に関する計画 (1) 方針 ア 人事サイクルを基本とした、実践的研修や専門的研修事業の活用による青少年教育施設の専門家の計画的な養成を図る。 イ 関係機関との間で幅広く計画的な人事交流を行い、多様な人材を確保する。 ウ 人事管理については新情報ネットワークシステムにおいて管理する。 (2) 人員に関する指標 常勤職員について、その職員数の抑制を図る。	人事管理の状況		・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。		・職員に対する研修の実施実績 ・関係機関等との人事交流の実施実績 ・新情報ネットワークシステムの整備状況 ・常勤職員数 など (別添資料 19)	A	・職員の意識改革や資質向上を図るため、計画的な研修が実施されるとともに、民間団体から3名の職員を登用するなど、法人化を生かした人事交流が行われたことは評価できます。 ・今後は、法人内における専門性の高い職員の養成、各施設における適正な人員配置に向けて積極的な取組みが望まれます。

〔別添資料 1〕

業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 施設の連携体制の状況

(1) 事務の集中管理による簡素化・効率化状況

人事・会計事務及び利用統計の一元化と進捗状況

法人組織としての効果的な業務運営を行うため、規則の制定及び以下のような情報ネットワークの整備を実施し、法人本部の主導の下、法人内での共通的な事務等について一元化を図った。

ア 人事事務 「諸規則の制定」

「人事給与システムの導入」

給与計算、給与支払業務の一括処理、人事管理 等

- 「独立行政法人国立少年自然の家の組織に関する規則」以下47本を定め、法人本部と各施設との機能的統合を推進し、効果的な連携体制が発揮できるよう整備した。
- 人事給与システムを導入し、各施設が従来行ってきた人事管理や給与支払業務等を、法人本部において一括処理が出来るようにした。
- 人事管理面については、法人本部での一元化を図るとともに、職員の昇格等について統一的な運用を図った。

イ 会計事務 「諸規則の制定」

「会計事務システムの導入」

支払い事務の一元化、資金管理等

「固定資産管理システムの導入」

固定資産等の管理・減価償却費の自動計算等

- 「独立行政法人国立少年自然の家会計規程」以下9本の関係規則を定めた。
- 法人本部と各施設との機能的統合を図るため、会計機関と事務の範囲を整理し、法人本部における支払い事務の一元化を図った。
- 固定資産等の管理・減価償却費の自動計算等を行うため「固定資産管理システム」を、会計業務に関する支払い事務の一元化や資金管理等についての簡素化、合理化を図るため「会計事務システム」を導入し、各種帳票類や決算事務処理への対応を図った。

ウ 利用統計 「利用統計業務に関するシステムの導入」
利用状況の管理、統計、分析等

各施設における利用団体（者）数や活動状況等を一つのデータベースで管理し、処理ができる「利用統計業務に関するシステム」を導入した。

事務の簡素化、効率化に向けての取組状況

ア 情報ネットワークを活用した情報環境の整備

○ 事務電算システムの整備状況

区 分	内 容	備 考
人事給与システム	給与計算、給与簿作成、給与支払業務の一括処理、源泉徴収票作成、定期昇給の自動更新、発令通知作成、人事管理等	
会計事務システム	支払い事務の一元化、決算事務、資金管理等	
固定資産管理システム	固定資産等の管理・減価償却費の自動計算等	
利用統計業務に関するシステム	施設利用団体（者）数、活動状況等、利用統計処理業務	

イ パーソナルコンピュータの供与等による事務の簡素化・効率化

- 事務の効率化の推進(各施設共通)
定型文書、諸様式等についてのファイルを共有化し、効率化を図った。
- チームウェア機能の立ち上げ
イントラネットによる、掲示板及びメール機能を活用することによって情報の共有化とペーパーレス化を進めた。
- 効率化に向けた業務内容の見直し
効率性、必要性等を意識した運営が行えるよう、業務内容等の点検・見直しに着手するとともに、省力化等の観点に立った事務手続きの簡素化に努めた。
- 「業務改善プロジェクト」の設置
業務の効率化を目指すため、法人内部に「業務改善プロジェクト」を立ち上げ、業務運営上の実態や問題点の把握、改善等についての検討を行った。

〔別添資料 2〕

2 業務の効率化状況

(1) 光熱水料の節減状況

光熱水料の節減実績

支出総額：平成 12 年度 258,041,574 円

平成 13 年度 247,689,830 円

(内訳は下記のとおり)

節減率 4 % ・ ・ ・ 目標 1 %

区 分	12 年度実績額：A	13 年度実績額：B	差引(A - B)：C	節減率 C/A
電 気	148,475,891 円	147,120,540 円	1,355,351 円	0.9 %
ガ ス	1,370,564 円	1,910,380 円	- 539,816 円	- 39.4 %
水 道	48,361,383 円	39,564,043 円	8,797,340 円	18.2 %
重 油	49,958,304 円	48,769,982 円	1,188,322 円	2.4 %
灯 油	9,875,432 円	10,324,885 円	- 449,453 円	- 4.6 %
合 計	258,041,574 円	247,689,830 円	10,351,744 円	4.0 %

節減率少数点第 1 位未満四捨五入

その他

光熱水料の節減対策としては、少年教育施設としての役割を踏まえ、利用団体の学習活動や生活等に支障の生じることがないように、また、利用者サービスの低下を招くことがないように十分配慮し、以下の取組を行った。

ア 節減努力の実施状況

- ・ 利用団体に対するポスター等での節電・節水への協力依頼
- ・ 館内の冷・暖房温度の設定温度調整と室温等に応じたこまめな調節
- ・ 施設内の巡視等による点検・消灯
- ・ 手洗い場、トイレ等での水の流量調節

イ 各種減免措置の活用状況

- ・ 需要契約の見直し
- ・ 減免措置の活用（上水道等）

ウ 省エネ製品の調達状況など

- ・ 省エネ製品の調達(エアコン、冷蔵庫、ストーブ等)
- ・ デマンドの設置(最大電力抑制装置)
- ・ 廊下等への感知式スイッチの取付
- ・ トイレ擬音装置の取付
- ・ 節水コマの取付
- ・ 職員に対する朝礼・会議等での意識啓発 など

〔別添資料 ３〕

（２）外部委託の見直し状況

法人化に伴い、法令で定められている業務等を除き、経済性、効率化等の観点からこれまで行ってきた外部委託を継続して実施する必要性や仕様書等の見直し・検討を行った。

また、新規委託業務についても、利用者サービスの向上や業務の効率化等の観点から、その必要性や効果等が十分得られるかを検討し、外部委託を行った。

ア 継続委託業務・・・４０件

委 託 理 由	委 託 業 務
業務の効率化、経費節減（合理化）	庁舎清掃業務など７業務
特殊業務及び専門的な資格が必要なもの	ボイラー運転管理業務など２２業務
法律に基づく	ボイラー設備保守業務など９業務
勤務環境の改善	警備委託業務など２業務

イ 新規委託業務

必要性や効果等からの検討

検討件数・・・２２件

新規委託業務・・・１１件

委 託 理 由	委 託 業 務
業務の効率化、経費節減（合理化）	庁舎清掃業務など７業務
特殊業務及び専門的な資格が必要なもの	会計監査等業務など２業務
法律に基づく	消防設備点検業務 （本部新設に伴うもの）
勤務環境の改善	警備委託業務

〔別添資料 ４〕

（３）事務の情報化の状況

事務能率向上方策等の実績

（ア）文書処理・管理業務の情報化

本部と各施設をネットワークで結び、次のような情報システムにより、庶務、会計、事業分野等での一元化を進め事務の効率化を図った。

また、これに併せて職員全員にパーソナルコンピュータを供与し、情報環境を整え事務文書の連絡用にメール等を活用することにより情報伝達の簡素化と迅速化を図った。

なお、今後、より一層の効果的な取組を推進させるため実情に応じた職員研修等を検討していく。

〔情報システム〕

区 分	シ ス テ ム	内 容	活用状況等
本 部	人事給与システム	職員の人事管理や給与の計算、支払事務等を効率化するシステム	人事異動期の事務処理、給与事務の一括処理等
	会計事務システム	法人本部での支払い事務の一元化、決算や資金管理を行うシステム	支払事務の一括処理、年度、月次決算報告書作成等
	固定資産管理システム	固定資産等の管理・減価償却費の自動計算等	年度、月次決算報告書作成等
	利用統計業務に関するシステム	施設利用団体、各種活動状況を一括して処理するシステム	広報活動、施設利用状況の分析等

（イ）ペーパーレス化の進捗状況

法人内でイントラネットシステムを活用したメールや掲示板の整備を進め、施設内での情報の共有化、定型文書や規定集のファイル化等を行い、ペーパーレス化を進めた。

また、ミスコピー用紙の再利用や会議等での両面印刷等に努めるとともに朝礼や会議等で職員の意識啓発を行った。

(ウ) 電算システムの改善状況など

法人化と同時に導入された「人事給与システム」「会計システム」「固定資産管理システム」は構築されて間もないことから大きなシステムの変更は実施していない。

今後は、運用の中で随時見直しを図っていきたい。

〔別添資料 5〕

(4) 物品の調達方法の改善状況

独立行政法人会計基準に基づく少年自然の家の「会計規程」を定め、随意契約における金額の幅を広げ契約の方法を簡略化する等、契約が機動的に行われるよう調達方法の改善等に努めた。

なお、従来の契約の見直し 設備品等の執行計画の作成 事務用品等大量購入物品の単価契約 制度を生かした効率的な契約の締結等、調達方法を改善し効率化を踏まえた取組を行った。

また、コピー用紙や蛍光管等、調達物品や調達内容により「グリーン購入法」等政府方針を考慮した取組を推進する中で、「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を策定し、各施設に通知するとともに対象物品の調達を推進した。

13年度の各施設における調達方法等の改善への取組については、次のとおりである。

〔調達方法の改善状況等〕

取 組 事 項	実 施 施 設
大量購入物品（トイレットペーパー、コピー用紙等）の単価契約の推進と検討	那須甲子、若狭湾、山口徳地、吉備、室戸
事務用品類のまとめ買いの実施	曽爾、吉備
競争原理を生かした効果的な契約の実施（低価物品での見積もり合わせの実施）	全施設
電話回線（マイライン）の契約変更	日高、花山、那須甲子、若狭湾、吉備、諫早
独法会計制度を生かした弾力的取組（随意契約の効果的な活用）	全施設
新規業者の開拓による競争性の拡大	全施設
契約の見直、設備品等の購入計画の策定	全施設
再生品の購入（再生トナー）の推進	那須甲子、信州高遠、若狭湾、吉備
為替の影響を考慮した重油のスポット契約	曽爾
OA機器を活用した所内印刷の推進	室戸

○環境物品等の調達の推進を図るための方針に基づく購入実績例

- ・紙類（情報用紙・印刷用紙）……全て対象品を購入
 - コピー用紙：判断基準（古紙配合率 100 %かつ白色度 70 %程度以下、包装は再生利用の容易さ等）等を満たす物を全て購入
 - 印刷用紙：判断基準（古紙配合率 70 %以上、包装は再生利用の容易さ等）等を満たす物を全て購入
 - 衛生用紙（トイレットペーパー）
 - ：判断基準（古紙配合率 100 %、包装は再生利用の容易さ等）等を満たす物を全て購入
- ・家電製品 ……対象品を中心に購入
 - 冷蔵庫：判断基準（消費電力量、断熱発泡剤剤の使用制限等）等に適合した機種を約 7 割購入（5/7 台）
 - エアコン：判断基準（エネルギー消費効率、資源有効利用促進法等）に適合した機種を約 9 割購入（15/16 台）
 - テレビ：判断基準（液晶テレビ、資源有効利用促進法等）に適合した機種を全て購入（3/3 台）
- ・OA 機器 ……対象品を中心に購入
 - コピー機：判断基準（再生紙対応式、基準エネルギー消費効率等）等に適合した機種を全て購入（2 台）
 - コンピュータ
 - ：判断基準（基準エネルギー消費効率、資源有効利用促進法等）等に適合した機種を約 9 割購入（39/45 台）
 - プリンタ：判断基準（低電力モードモード移行時間、部品の再使用等の設計上の工夫等）等に適合した機種を約 9 割購入（6/7 台）
 - スキャナ：判断基準に適合した機種を全て購入（2 台）
- ・自動車 ……全て対象品を購入
 - ハイブリッド自動車購入（2 台）
- ・事務用品、蛍光灯等についても対象品を中心に購入

（５） １％の業務の効率化

目標：１％

１３年度実績：１．３％

$(\text{運営費交付金予算額} \div 0.99 - \text{運営費交付金決算額}) \div \text{運営費交付金予算額} \div 0.99)$

$(4,329,041 \text{ 千円} \div 0.99 - 4,315,414 \text{ 千円}) \div (4,329,041 \text{ 千円} \div 0.99)$

〔別添資料 6〕

国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

少年の団体宿泊訓練に関する事項

1 主催事業の実施状況

(1) 現代的課題、今日的な少年教育に関する事業への取組状況

ア 現代的な課題等に対応した新規事業

少年自然の家では、全国の14施設の立地条件等を踏まえ、時代のニーズに応じ少年が社会生活を営む上で理解し、体得しておくことが望まれる「現代的な課題」に対応した13年度の新規事業として、近年の中央教育審議会答申、生涯学習審議会等を参考に29事業を実施した。

特に「異年齢による長期自然体験活動の推進・充実」「環境教育の推進」「総合的な学習の時間に対応した学社融合の推進」などの課題に対応した事業を実施したのをはじめ、不登校児童・生徒や障害のある児童生徒を対象とした事業を行い、体験活動の推進と充実に努めた。

少年を対象とした新規主催事業

	事業名	対応する現代的な課題等	事業の趣旨	対象参加者/定員満足度	実施期間	共催・連携団体
日高	森の少年保安官	環境教育の推進	施設に隣接する国有林を活用した林業体験活動を通して、森林の働きと豊かな恵みを体験させるとともに、森林保護の精神を育てる。	中学2年 59/60 94.9%	8/23～24 1泊2日	日高北部森林管理署
	異学年異学校交流推進事業～プロジェクト兄弟・姉妹～	「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	学校が学年、学校の枠を超えた異年齢グループでの活動を行うことによって、自ら課題を見つけ、自主的に判断行動し、問題解決能力、思いやりの心など、「生きる力」を育む総合的な学習の時間のプログラムの開発を図る。	道内の中学校2年・小学校5年、各2校、計4校 310/310 88.3%	第1回8/27～28 第2回8/30～31 各1泊2日	北海道教育大学旭川校、鶴川町立鶴川中学校、苫小牧市立明野小学校、当麻町立当麻中学校、白老町立緑丘小学校
	ひだかこども広場	異年齢交流の推進 自然体験活動の推進	野外で活動する機会の少ない冬季間に小中学生が集い、雪中活動の楽しさを体験するとともに、寒さに負けない強い心を養う。	小学4年～ 中学3年 53/30 87.7%	3/9～10 1泊2日	
花山	『花山自然体験プロジェクト』 花山自然探検隊 "春"はなやまの春探し "夏"いかだ下りに挑戦 "秋"花山の宝物探し	異年齢交流の推進 自然体験活動の推進	異年齢の子ども達が花山に集い、四季折々の自然の素晴らしさを様々なプログラムを通して体験する。 植物観察等の自然散策を通して、春を探す。 協力していかだ下りに挑戦し、自然を味わう。 地元の農家で、高齢者との交流を通して歴史や文化・生活を	小学3年～ 中学3年 38/30 36/30 31/30 34/30 99.2%	5/3～4 8/25～26 11/3～4 2/9～10 各1泊2日	宮城県伊豆沼、内沼環境保全団体・フォレストファーム

	"冬"雪山ウォッチング		学ぶ。 冬の自然の素晴らしさを味わい、雪を利用した遊びを楽しむ。			
那須甲子	なすかし “森の学校” ～自然体験を通じた「総合的な学習の時間」の実践～ (小学校編)	「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	自然の家と地域の学校が有機的連携を図り、学校の教育課程に自然の家での活動を位置付け、自然の家で自然体験活動を行うことにより、「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発を行う。	福島県白河市立五箇小学校 3年～6年 77/77名 96.0%	10/19～23 4泊5日	福島県白河市五箇小学校・福島県白河市教育委員会・福島県西郷村・福島県白河山岳会・福島県西白河地方森林組合
信州高遠	都会っ子あつまれ！ - 農作業（田植え・稲刈り）体験をしよう -	異年齢交流の推進 生活・文化体験の充実	大地の恵みを生活に生かす人間の知恵を学び、これからの生活に生かそうとする態度を養うとともに、農作業体験を通して奉仕する心や勤労を尊ぶ心を養う。また、共同作業を通して参加者や地域の人々と交流し、協力や思いやりの心を育てる。	小学5年～中学3年 小学5年～中学3年 及び小中学生を含む家族等 8/40 100% 40/40 100%	5/12～13 1泊2日 9/22～24 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、上伊那広域連合、高遠町教育委員会、中央青少年団体連絡協議会、信州大学教育学部
	自然の中で環境スクール - 総合的な学習の時間実践事業 -	環境教育の推進 「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	環境教育を中心とした体験活動による総合的な学習の時間を実施する。児童・生徒が自らの興味関心に基づいて、自然の営みについて観察・調査・発表し、自然と人間や人間同士の関わりについて理解を深めるとともに、問題解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を養う。	愛知県岡崎市立常磐中学校2学年全員 東京都青梅市立成木小学校4・5年 78名 52名 - %	6/16～18 2泊3日 9/27～29 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、高遠町教育委員会
	「中山道・甲州街道」徒歩旅行 - 仲間とつくる6泊7日 -	長期体験 自然体験活動の推進 生活・文化体験の充実 異年齢交流の推進	街道を歩きながら、野宿を含めた昔の旅人の困難さを追体験することでチャレンジ精神を養い、計画から実行まで目的意識をもって取り組むことにより、自主性・協調性・創造性を養う。また、その土地その土地の歴史や文化に積極的に触れ、理解を深める。	小学4年～中学3年 27/30 100%	8/1～7 6泊7日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、上伊那広域連合、高遠町教育委員会、山梨大学教育人間科学部、信州大学教育学部
	子ども自然学習隊 - 中央構造線・諏訪湖・天竜川を行く -	環境教育の推進 異年齢交流の推進	自然の家や長野県南部地域の自然や歴史・文化などとのふれあいや観察・調査活動を通して、「環境」への感性や探究心を高める。さらに、環境保全に対して主体的創造的に取り組む態度を養うとともに、環境学習に関するプログラムの開発・普及を目指す。	小学4年～中学3年 40/30 97.0%	11/23～25 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、高遠町教育委員会、信州大学山地水環境教育研究センター、大鹿村中央構造線博物館

妙高	悩みを抱える青少年体験活動推進事業 「オープン・ザ・ドア～太平洋から日本海へ～」	非行・不登校対応	悩みを抱える中学生が長期の冒険活動を体験し、マウンテンバイクでの日本横断を通して達成感を得ることにより、これまでの生活を振り返り、社会性や自信の回復、自立心を育成する。	非行・不登校の中学1～3年 8/15 - %	9/1～25 24泊25日 1/12～14 2泊3日	(有)アウトドア・エデュケーションセンター、新潟県教育委員会
	妙高フレンドスクール「通学キャンプ」	体験活動の充実	地域の中核施設として、地域の学校・団体等と連携し、共同宿泊生活をしながら通学し、学校間交流を通してコミュニケーション能力や思いやりの心、自主性等を育成する。	妙高村内3校の小学6年 51/52 96.1%	11/24～12/1 7泊8日	妙高村教育委員会・PTA連絡協議会
立山	大地が動く立山カルデラ少年調査隊	環境教育の推進 文化活動の充実	立山カルデラや常願寺川流域の現地探訪などの活動を通して、治水・利水に対する先人の知恵を学ぶ。	小学5年～中学3年 21/30 89.0%	8/23～25 2泊3日	国土交通省立山工事事務所、立山カルデラ砂防博物館
	こちら立山エコセンター	環境教育の推進 「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	森の環境をマツ葉や樹形、水生昆虫などの生物的指標を中心に診断し、その結果に基づいた調査隊のアピールを他地域へ発信・交流することを通して、環境保護の意識を培う。	小学3年～中学3年 - %	5ヶ年計画 初年度 *13年度は、開発体制の整備のためのアンケート調査を実施。	富山県内の小中学校
若狭湾	科学の不思議を体験！ 科学と遊ぼう！！	科学学習の展開	体験を通して科学への興味関心を高める。	小学校中・高学年とその家族 38/100 - %	5/12	若狭ロータリークラブ
	地域・人・自然から学ぶ～若狭ふれあいの旅～	長期自然体験活動の推進 異年齢交流の推進	漁家での宿泊体験や竪穴住居宿泊体験等、地域に密着した体験活動を通して、社会の中での自分を意識させ、自己を見つめさせる。	小学5年～中学3年 20/20 - %	7/29～8/7 9泊10日	田島漁家組合、田島観光協会、三方町縄文博物館
曽爾	みんなでリフレッシュ	障害児等の体験活動の推進	豊かな自然環境の中での活動を通して、自然に親しみ、いろいろな人とふれあい、日常生活を離れてリフレッシュし、明日への意欲を高める。	多動性傾向の児童生徒と家族等 21/20 100%	10/13～14 1泊2日	奈良県立教育研究所、奈良教育大学
	おじいちゃん おばあちゃんの知恵袋	地域活動の促進	地域の子ども達と高齢者が工作活動や昔の遊び等の交流を通して、高齢者から「生活の知恵」について学ぶとともに、うるおいのある温かい地域社会の実現を目指す。	高齢者及び小中学生・市町村の福祉関係者 74/40 100%	11/24～25 1泊2日	曽爾村教育委員会、曽爾村社会福祉協議会
	あつまれ ちびっ子 冬と遊ぼう	異年齢交流の推進 自然体験活動の充実	子ども達が冬の曽爾高原で思いっきり遊ぶという経験を通して、自然や仲間との関わり方、自立心等を身につける。	小学1年～6年 60/30 78.5%	12/22～23 1泊2日	

吉備	吉備自然探険隊 “カワセミ クラブ”	環境教育 の推進 異年齢交 流の推進	自然環境の調査や観察を通して、探求心や感性を高め、環境保全に対する主体的・創造的な態度を養うとともに、自然の家における総合的な学習の時間に対応できる環境学習の教材開発を行う。	小学4年～ 6年 51/50 71/50 92.9%	7/20～22 11/23～25 各2泊3日	岡山大学資源 生物研究所、加 茂川町林業研 究所、岡山県自 然保護センタ ー、岡山県教育 委員会
	悩みを抱える青 少年の体験活動 推進事業 「とび出せ！ 一人ぼっち！ 夢さがしの旅」	不登校・ひ きこもり 対応	児童生徒とその保護者が悩みを語り合い、自然や多くの 人々と交流する体験プログラ ムを開発し、実際にプログラ ムに参画する中で、不登校問 題に対する教職員の役割につ いて考える。また、自然の家 が、その特性を生かしたプロ グラム作りを行う。	不登校等 でひきこ もりが ちな小 ・中 学生と 保護者 77 - %	夏から冬に かけての25 日間、自然の家 での活動は 12/25～27 2泊3日	岡山県教育委 員会、岡山県内 青少年教育施 設
山口 徳地	佐波川のホタル とともに	環境教育 の推進	ホタルの生態に関する学習 や観察、川を中心とした環境 の調査を通して、自然に親し み、自然環境や生き物の命を 大切にすることを養う。	親子、家族、 子どもと引 率者 111/100 100%	6/9～10 1泊2日	
	緑の少年団全国 大会	環境教育 の推進	全国の緑の少年団員、指導 者等が自然体験活動や情報交 換会を行いながら、緑を愛し、 緑を育てる心豊かな子どもの 育成を図る。	全国の緑の 少年団員と 引率者及び 関係者 392/500 - %	7/25～27 2泊3日	全国の緑の少 年団連盟、山口 県緑の少年団 連絡協議会
	ふれあいYOU & ME サークル とくち通学合宿	体験活動 の充実 地域活動 の促進	自然に親しませつつ行う団 体宿泊訓練を通して自立心を 養い、参加者相互の交流を図 る。また、地域住民との交流 を通して、郷土を愛する心を 育てる。	徳地町内の 小学6年 20/制限な し - %	3/5～7 2泊3日	徳地町との共 催事業
室戸	国際 ビーチクリーン アップin室戸	環境教育 の充実	毎年9月に開催される世界 一斉の「国際ビーチクリーン アップ」を室戸でも開催し、 海岸漂着物の現状を調査し、 環境教育の充実を図る。	小・中学生 とその家族 45/40 100%	9/23～24 1泊2日	クリーンアッ プ全国事務局
	「海」を活用 した総合的な 学習 「日本版ウォ ーターワイズ」	自然体験 活動の充 実 環境教育 の推進	黒潮の恩恵を受けた身近な 海での活動を体験するだけで なく、これらの活動を通して 海に親しみ、海からの恩恵を 学び、海について理解を深め、 海の環境問題を考えるととも に海での基本的な安全知識（ 危険回避）を身に付ける。	高知県下の 特定小学校 1校 39名 100%	10/9～12 3泊4日	日本マリンス ポーツ普及教 育振興協会、全 日本潜水連盟、 日本海洋学会、 クリーンアッ プ全国事務局

	ふれあい通学合宿	長期自然体験活動の推進	家庭を離れ、集団宿泊生活を行い、自主性・社会性及び豊かな感性を育む。	地元小学校の4～6年 38/30 91.9%	11/11～18 7泊8日	室戸市教育委員会、室戸市各小中学校学校
夜須高原	夜須高原 “いきいき” キャンプ	障害児等の体験活動の充実	福岡県の社会福祉ゾーンとして整備の進む夜須高原で、障害をもつ子どもたちを対象に、野外活動を通して生活能力・人間関係能力を培い、社会生活を送る力を育む。	障害や悩み等のある児童・生徒及びその家族 19/40 28/40 35/40 - %	6/9～10 1泊2日 8/22～27 5泊6日 12/22～24 2泊3日	福岡県教育委員会、福岡県教育センター
	遊・学キャンプ	体験活動の充実	長期間、家庭を離れての共同生活で自立心や社会性を養うとともに、総合的な学習を行い学校の学習につなげる。	小学5年～中学3年 50/48 35/50 98.8%	8/3～10 7泊8日 1/26～27 1泊2日	福岡・佐賀・熊本・大分・各教育委員会
諫早	「ホリデーキャンプ」 ～ガッツだ！挑戦だ！～	長期自然体験活動の推進	自然体験が乏しい子ども達の野外でのワイルドな長期キャンプを通して、大自然の営みを理解させるとともに、子ども達の友情・助け合いの精神を育み、豊かな情操を養う。	小学5年～6年 30/30 100%	7/22～29 7泊8日	長崎県キャンプ協会、長崎県サイクリング協会、長崎ヤマネの会

「主催事業における満足度」について

主催事業参加者の満足度の調査は、当該事業の最終日（終了直後）に各参加者に記入してもらい、これらを集計した。

【子どもの事業に対する満足度】

『主催事業に参加してどうでしたか』の問いに対して、「とても良かった」

「良かった」「あまり良くなかった」「良くなかった」の中から、「とても良かった」「良かった」と回答された比率

【指導者の研修事業に対する満足度】

『全体を通しての事業内容はいかがでしたか』の問いに対して、「とても満足」「満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の選択肢の中から、「とても満足」「満足」と回答された比率

(2) 年度計画による主催事業

ア 異年齢による長期自然体験事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者 / 定員 満足度	実施期間	共催 連携団体
日高	日高山脈冒険隊 [継続]	登山やサイクリング、川下りなど長期の野外活動を通して、自然の雄大さや厳しさを実感するとともに、生態系に配慮したキャンプ生活で「たくましく生きる力」と自然愛護の精神を養い、少年の冒険心を育てる。	小学5年～ 中学1年 28/20 96.0%	8/2～8 6泊7日	日高町
花山	奥の細道“21世紀” ～自分にチャレンジ“新発見”～ [継続]	芭蕉のたどった「奥の細道」や栗駒登山などの移動キャンプを行いながら、地域の歴史や文化にふれ、仲間の大切さを理解するとともに忍耐力を養う。	小学5年～ 中学3年 17/30 100%	7/22～29 7泊8日	
那須 甲子	那須甲子連峰 子どもアドベンチャー～長期冒険キャンプ～ [継続]	子どもたちが、山岳登山、阿武隈川源流探険やビバーク(野宿)などの体験を通して自然の厳しさ、美しさなどを体感するとともに忍耐力や達成感を醸成し、たくましい身体を養う。	小学5年～ 中学3年 30/30 100%	7/31～8/9 9泊10日	福島県山岳連盟 県南支部
信州 高遠	「中山道・甲州街道」 徒歩旅行 - 仲間とつくる6泊7日 - [新規]	街道を歩きながら、野宿を含めた昔の旅人の困難さを追体験することでチャレンジ精神を養うとともに、計画から実行まで目的意識をもって取り組むことにより、自主性・協調性・創造性を養う。また、その土地その土地の歴史や文化に積極的に触れ、理解を深める。	小学4年～ 中学3年 27/30 100%	8/1～7 6泊7日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、上伊那広域連合、高遠町教育委員会、山梨大学教育人間科学部・信州大学教育学部
妙高	悩みを抱える青少年体験活動推進事業「オープン・ザ・ドア～太平洋から日本海へ～」 (文部科学省委属事業) [新規]	悩みを抱える中学生が長期の冒険活動を体験し、マウンテンバイクでの日本横断を通して達成感を得ることによって、これまでの生活を振り返り、社会性や自信の回復、自立心を育成する。	非行・不登校の中学1～3年 8/15 - %	9/1～25 24泊25日 1/12～14 2泊3日	(有)アウトドア・エデュケーションセンター 新潟県教育委員会
	妙高キッズ・アドベンチャー 【夏期】 【冬期】 [継続]	参加者の「問題解決能力」「協調性」を高めるとともに困難を克服し、「達成感」「自信」を得て、「主体的な態度」を育てる機会とすると同時に長期キャンプのプログラムや評価方法を冬期探る。雪に関わる体験や共同宿泊生活を通して「問題解決能力」や「協調性」を養う。	小学5年～ 中学3年 夏期 30/30 冬期 19/30 100%	7/27～ 8/10 14泊15日 2/9～11 2泊3日	新潟・千葉・群馬県教育委員会 (財)JR東海生涯学習財団 新潟日報社
立山	チャレンジ・ザ・立山 - 雲上3,000mへ - [継続]	北アルプスの屋根立山連峰の縦走にチャレンジすることにより、たくましい心と体を培う。	小学5年～ 中学3年 25/30 87.7%	7/26～7/31 5泊6日	富山・石川・新潟県教育委員会
	真夏の山と海は友だち少年の輪 [継続]	立山連峰と富山湾において標高差3,000mの自然体験を通し、自ら心や体を鍛える。また、動植物の観察を通して、自然の仕組みを学び、参加者相互の交流を深める。	小学5年～ 中学3年 28/30 100%	8/2～9 7泊8日	国立富山商船高等専門学校 他

若狭湾	地域・人・自然から学ぶ～若狭ふれあいの旅～ [新規]	漁家での宿泊体験や竪穴住居宿泊体験等、地域に密着した体験活動を通して、社会の中での自分を意識させ、自己を見つめさせる。	小学5年～ 中学3年 20/20 - %	7/29～8/7 9泊10日	田島漁家組合・ 田島観光協会・ 三方町縄文博物館
曽爾	夢冒険 真夏にチャレンジ [継続]	異年齢の子ども達が、徒歩やサイクリングを通して、経験したことのない冒険や過酷な体験に立ち向かうことにより自らの可能性を発見し、互いに助け合う心・感謝する心・達成する喜びを学ぶ。	小学5年～ 中学3年 30/30 100%	8/4～10 6泊7日	サイクリング協会
吉備	サマーチャレンジ inきび めざせ!!山の達人! 海の達人! [継続]	山と海の活動を通して、自然の美しさや厳しさを学ぶとともに、共同での長期キャンプにより、自主性・協調性・創造性・忍耐力を培い、心豊かな子どもの育成を図る。	小学5年～ 中学3年 25/25 92.0%	8/1～11 10泊11日	鳥取県立船上山 少年自然の家・ 鳥取県山岳協会
山口徳地	野性の夏2001 [継続]	長期キャンプにおける集団宿泊生活で様々な自然体験活動を通して自立心や豊かな心情、たくましい心身の育成を図ることにより「生きる力」を育み、「食」に対する感謝の念を養う。	小学4年～ 中学3年 32/30 100%	8/17～26 9泊10日	
室戸	わんぱく子ども宿 [継続]	大自然の中でのキャンプや様々な体験に挑戦する中で、助け合いの気持ちや困難に打ち勝つ精神力を育み、心豊かな少年の育成を図る。	小学5年～ 中学3年 36/30 97.1%	8/1～18 17泊18日	
夜須高原	遊・学キャンプ [継続]	長期間、家庭を離れての共同生活で自立心や社会性を養うとともに、総合的な学習を行い学校の学習につなげる。	小学5年～ 中学3年 50/48 35/50 98.8%	8/3～10 7泊8日 1/26～27 1泊2日	福岡・佐賀・熊本 ・大分各教育委員会
諫早	「ホリデーキャンプ」 ～ガッツだ! 挑戦だ!～ [新規]	自然体験が乏しい子ども達に、野外でのワイルドな長期キャンプを通して、大自然の営みを理解させるとともに、子ども達の友情・助け合いの精神を育み、豊かな情操を養う。	小学5年～ 6年 30/30 100%	7/22～29 7泊8日	長崎県キャンプ協会・長崎県サイクリング協会・長崎ヤマネの会
大隅	われは海の子 ～錦江湾ぐるり一周の旅～ [継続]	錦江湾をゴムボートで一周するアドベンチャー活動に挑戦し、気力・体力や協調性を培う。海の生物・環境調査を行い環境問題への関心を高め、海から見た地形や錦江湾のすばらしさを再発見する。	小学5年～ 高校生 35/36 96.7%	7/21～28 7泊8日	第10管区海上保安庁・鹿児島大学医学部附属病院

イ 施設の特色、立地条件を生かした自然体験活動

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間	共催 連携団体
日高	菜才共和国 大集合 [継続]	農園での作物の栽培や野外活動など、自然とのふれあいを通して参加者同士の交流を図り、自然と人間のかかわりについて科学する心を育てるとともに、勤労と生産の喜びを知る。	小学3年～ 小学6年 14/40 51/40 44/40 35/40 95.0%	5/26～27 6/23～24 9/23～24 12/8～9 各1泊2日	
	ひだか こども広場 [新規]	野外で活動する機会の少ない冬間に小中学生が集い、雪中活動の楽しさを体験するとともに、寒さに負けない強い心を養う。	小学4年～ 中学3年 53/30 87.7%	3/9～10 1泊2日	
花山	『花山自然体験プロジェクト』 花山自然探検隊 "春"はなやまの春探し "夏"いかだ下りに挑戦 "秋"花山の宝物探し "冬"雪山ウォッチング [新規]	異年齢の子ども達が花山に集い、四季折々の自然の素晴らしさを様々なプログラムを通して体験する。 植物観察等の自然散策を通して、春を探す。 協力していかだ下りに挑戦し、自然を味わう。 地元の農家で高齢者との交流を通して歴史や文化・生活を学ぶ。 冬の自然の素晴らしさを味わい、雪を利用した遊びを楽しむ。	小学3年～ 中学3年 38/30 36/30 31/30 34/30 99.2%	5/3～4 8/25～26 11/3～4 2/9～10 各1泊2日	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、フォレストファーム
信州 高遠	都会っ子あつまれ！ - 農作業 (田植え・稲刈り) 体験をしよう - [新規]	大地からの恵みを生活に生かす人間の知恵を学び、生活に生かそうとする態度を養うとともに、農作業体験を通して奉仕する心や勤労を尊ぶ心を養う。また、共同作業を通して参加者や高遠町の人々との交流を図り、だれとでも協力し合おうとする思いやりの心を育てる。	小学5年～ 中学3年 小学5年～ 中学3年 及び小中学生を含む家族等 8/40 100% 40/40 100%	5/12～13 1泊2日 9/22～24 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、上伊那広域連合、高遠町教育委員会、中央青少年団体連絡協議会、信州大学教育学部
妙高	妙高フレンドスクール 「通学キャンプ」 [新規]	地域の中核施設として、地域の学校・団体等と連携し、共同宿泊生活をしながら通学し、学校間交流を通してコミュニケーション能力や思いやりの心、自主性等を育成する。	妙高村内の小学校 3校 6年生 51/52 96.1%	11/24～ 12/1 7泊8日	妙高村教育委員会、妙高村PTA連絡協議会
立山	真冬のチャレンジ・キャンプ [継続]	立山山麓の厳冬の中でのキャンプ生活やかんじき登山などの雪上活動を通して自ら心と体を鍛え、参加者相互の交流を深める。	小学5年～ 中学3年 33/30 75.0%	2/9～11 2泊3日	富山・石川・新潟県教育委員会
	大地が動く立山カルデラ少年調査隊 [新規]	立山カルデラや常願寺川流域の現地探訪などの活動を通して、治水・利水に対する先人の知恵を学ぶ。	小学5年～ 中学3年 21/30 89.0%	8/23～25 2泊3日	国土交通省立山砂防工事事務所、他

曽爾	ふれあい広場 [継続]	障害のある人もそうでない人も、自然の中で共に活動し、心の交流を深めることを通して、「共生」の考えを押し進め、互いに助け合い、支えあう社会の実現を目指す。	障害を持つ子とその家族等 55/30 34/30 93.8%	6/9～10 1泊2日 12/8～9 1泊2日	
	ちびっ子冒険クラブ [継続]	自然体験の機会が少なくなった子ども達が、曽爾の自然の中での遊びを通して、自然との関わり方、自立の心、思いやりの心などを身につける。	小学1年～4年 63/60 77/60 87.3%	8/25～27 8/28～30 各2泊3日	みつえ高原牧場
	あつまれちびっ子冬と遊ぼう [新規]	子ども達が冬の曽爾高原で思いっきり遊ぶという経験を通して、自然や仲間との関わり方、自立心等を身につける。	小学1年～6年 60/30 78.5%	12/22～23 1泊2日	
	自然エコ探検クラブ [継続]	曽爾の自然環境の中で、体験活動や探求活動を行い、環境についての意識を高めより良い環境の創造のために実践する態度を身につける。	小学3～6年 45/40 95.6%	7/21～22 1泊2日	
吉備	きびセカンドホーム～少年自然の家からの通学～ [継続]	自然の家を自分たちの家として、ここから通学することにより、自主性・社会性・忍耐力・感謝の気持ち等を身につけ、心豊かな子どもの育成を図る。	小学4年～中学3年 62/70 93.5%	1/27～2/2 6泊7日	賀陽町・加茂川町教育委員会、吉備高原都市学校事務組合教育委員会
山口徳地	佐波川のホタルとともに [新規]	ホタルの生態に関する学習や観察、川を中心とした環境の調査を通して、自然に親しみ、自然環境や生き物の命を大切にする態度を養う。	親子、家族、子どもと引率者 111/100 100%	6/9～10 1泊2日	
	ふれあいY O U & M E サークルとくど通学合宿 徳地町との共催事業 [新規]	自然に親しませつつ行う団体宿泊生活を通して自立心を養い、参加者相互の交流を図る。また、地域住民との交流を通して、郷土を愛する心を育てる。	徳地町内の小学6年20/制限なし - %	3/5～7 2泊3日	徳地町
室戸	黒潮の自然と文化を学ぶ [継続]	室戸の海で働いてきた人々の話を聞いたり、海辺の活動を通して、黒潮のもたらした自然や文化・産業を学び、郷土を愛する心を育てるとともに、自然への興味・関心を高める。	小学4年～6年（4回参加） 34/40 81.8% 37/40 88.9% 35/40 97.1% 25/40 88.0%	4/28～29 6/9～10 7/14～15 11/3～4 各1泊2日	
	ふれあい通学合宿 [新規]	家庭を離れ、集団宿泊生活を行い、自主性・社会性及び豊かな感性を育む。	地元小学校の4～6年生 38/30 91.9%	11/11～18 7泊8日	室戸市教育委員会 室戸市各小中学校

夜須高原	夜須高原 トム・ソーヤー塾 [継続]	施設のスタードームから見渡せる山々、地域の海・山・川を舞台に、3回シリーズでを通して冒険精神を育む。(第1回の参加者で3回シリーズを行う。)	小学5年～ 中学3年 56/60 58/60 56/80 28/60 98.9%	5/26～27 1泊2日 7/24～28 4泊5日 10/6～8 1泊2日 2/23～24 1泊2日	
	夜須高原 “いきいき”キャンプ [新規]	福岡県の社会福祉ゾーンとして整備の進む夜須高原で、障害をもつ子どもたちを対象に、野外活動を通して生活能力・人間関係能力を培い、社会生活を送る力を育む。	障害や悩み等のあ る児童・ 生徒及び その家族 19/40 28/40 35/40 - %	6/9～10 1泊2日 8/22～27 5泊6日 12/22～ 24 2泊3日	福岡県教育委 員会 福岡県教育セ ンター
	通学キャンプ [継続]	次年度に同じ中学校に進学する町内3小学校の児童が、自然の家で共同生活をしながら通学する中で、友情を深め、自立心や社会性を養い、「生きる力」の育成を図る。	夜須町立 東小田小 学校・中牟 田小学校・ 三並小学 校の6年生 の希望者 71/100 95.4%	11/24～ 12/1 7泊8日	夜須町3小学 校・同校PTA 、夜須町教育委 員会
諫早	沢ガニさんと水あそび [継続]	川や沢で水遊びを楽しみ、自然の営みを理解するとともに、自立の心や参加者相互の友情を深める。	小学1年 ～4年 95/100 101/100 96.0%	7/8 7/15	
	ワキ・アイアイ教室 [継続]	自然体験、生活体験等を通して不登校児童・生徒の自立と集団への適応を図るとともに、保護者の研修会、教育相談会を行う。	諫早市少 年センタ ーに通う 児童・生 徒及び保 護者 10 - %	通年 月1回程度	長崎県教育委 員会、諫早市教 育委員会、諫早 市少年センタ ー
大隅	思いっきり 海、山、川体験 [継続]	高隈山系周辺、錦江湾、高須川等で山・川・海を活用した多様な自然体験活動を通して、心身のリフレッシュを図るとともに、協力・助け合いの心を培う。	小学4年 ～中学3 年 58/50 93.4%	8/18～20 2泊3日	
	高隈連山縦走自然 の旅 [継続]	野営生活をしながら冬の高隈連山縦走に挑戦し、自然の厳しさや偉大さを体得するとともに、相互の友情の輪を広げ実践力のある青少年を育てる。	中学1年～ 高校3年 30/30 95.6%	12/23～27 4泊5日	鹿屋警察署・地 区消防組合 鹿屋営林署
	ウィンターキャン プ [継続]	厳寒期の過酷な条件下でのキャンプを通して自然にふれ、心身の鍛錬を行うとともに共同生活で友情や協力性を深め、自立する心を育てる。	小学5年 ～中学3年 33/30 97.0%	1/26～27 1泊2日	

おおすみくん家 ホームステイ ・ [継続]	自然の家から通学し、日常の学校生活や自然の家での生活を通して、異年齢集団による協力・助け合いの心を育てるとともに自立の精神を培う。 多様な自然体験等により豊かな心やたくましさを身につける。	小学4年～ 中学3年 26/50 27/50 100%	2/2～9 2/16～23 各7泊8日	鹿屋市・垂水市
----------------------------------	---	---	---------------------------	---------

ウ 国立少年自然の家相互間の連携・共催事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者 / 定員満足度	実施期間	共催 連携団体
日高	日本列島ともだち の輪 in日高（北海道） ～大隅（鹿児島県）	異なる地域の子ども達が、相互に訪れ交流し、生活様式や自然環境などの違いを体験するとともに、友達の輪を広げ、自分の故郷を見直す機会とする。	小学5年～中学1年 39/40 42/40 100%	12/22～27 活動先：日高 5泊6日	共催：国立日高・花山・那須甲子・室戸・諫早・大隅
大隅	[継続]		小学5年～中学1年 40/40 40/40 100%	1/11～15 活動先：大隅 4泊5日	
花山	日本列島ともだち の輪 in花山（宮城県） ～室戸（高知県）		小学5年～中学1年 夏40/40 冬32/40 100%	1/4～7 活動先：花山 3泊4日	
室戸	[継続]		小学5年～中学1年 夏34/40 冬30/40 100%	8/7～12 活動先：室戸 5泊6日	
那須甲子	日本列島ともだち の輪 那須甲子（福島県） ～諫早（長崎県）		小学5年～中学1年 夏40/40 冬40/40 97.5%	12/23～27 活動先：那須甲子 4泊5日	
諫早	[継続]		小学5年～中学1年 夏39/40 冬36/40 90.0%	8/6～11 活動先：諫早 5泊6日	
花山	国立等少年自然の家P A研究協議会 [新規]	プロジェクトアドベンチャーのロープスコースを所有している国立等施設の職員が一堂に会し、指導者養成や確保コースの維持活用、今後の事業開発について協議する。	各施設の担当職員 15/15 100%	1/29～30 1泊2日	連携：日高・妙高・山口徳地、宮城県泉岳青年の家
妙高	少年自然の家等職員研修会 [継続]	青少年の学校外活動の充実のため、青少年教育施設の今日的な課題について広域的な視点で協議するとともに、職員の資質向上を図る。	国・公立少年自然の家等の職員 24/30 94.4%	12/5～7 2泊3日	共催：信州高遠・立山

若狭湾	東日本国立青少年教育施設職員研修 / 公立青少年教育施設職員研修 [継続]	施設職員が一堂に会し、施設の事業運営、業務改善について協議し、職員としての専門的知識や技術を習得し、資質向上を図る。 また、ネットワークの構築を図る。	国立青少年教育施設職員、近畿地区等公立施設職員 30/40 96.0%	11/20～22 2泊3日	共催：曾爾
山口徳地	中国・四国地区少年自然の家職員セミナー [継続]	中国・四国地区少年自然の家の職員が当面する課題について研究協議し、指導者としての能力の向上を図るとともに施設間の連携・交流を図る。	中国・四国地区少年自然の家職員等 30/25 90.0%	12/5～7 2泊3日	共催：吉備・室戸
夜須高原	九州地区公立少年自然の家職員研修 [継続]	公立少年自然の家の職員に必要な専門的知識や技術の習得を図るとともに、研究協議を通して施設職員の資質を高める。	九州地区立少年自然職員 50/50 93.2%	2/13～15 2泊3日	共催：大隅・諫早
立山	4施設ボランティアネットワーク事業集い語ろうボランティアフォローアップセミナー [新規]	近隣の4施設で活動する施設ボランティアが集い、青少年の野外活動を援助・指導するための方法や理論について実習や協議を通して学ぶ。	4施設のボランティア登録者 22/30 86.0%	12/21～23 2泊3日	共催：若狭湾・立山、能登・乗鞍青年の家
法人本部	国立少年自然の家給食業務専門研修 [新規]	少年自然の家における給食業務の充実を図るため、食堂職員を対象に専門的、実践的研修を行い職員の資質向上を図る。	各少年自然の家の食堂店長・料理長 29/28 -%	12/5～8 3泊4日	共催：国立那須甲子少年自然の家 協力：西郷村立川谷小学校

エ 国の施策を具現化する事業

	事業名	対応する現代的な課題等	事業の趣旨	対象参加者/定員満足度	実施期間	共催連携団体
日高	森の少年保安官 [新規]	環境教育の推進	施設に隣接する国有林を活用した林業体験活動を通して、森林の働きと豊かな恵みを体験させるとともに森林保護の精神を育てる。	中学2年 59/60 94.9%	8/23～24 1泊2日	日高北部森林管理署
	異学年異学校交流推進事業～プロジェクト兄弟・姉妹 [新規]	「総合的な学習の時間」対応による学社融合の推進	学校が学年、学校の枠を超えた異年齢グループでの活動を行うことによって、自ら課題を見つけ、自主的に判断行動し、問題解決能力、思いやりの心など、「生きる力」を育む総合的な学習の時間のプログラムの開発を図る。	道内の中学校2年・小学校5年、各2校、計4校 310/310 88.3%	第1回8/27～28 第2回8/30～31 各1泊2日	北海道教育大学旭川校、鶴川町立鶴川中学校、苫小牧市立明野小学校、当麻町立当麻中学校、白老町立緑丘小学校

花山	アドベンチャー スクール [継続]	不登校への対応	不登校状態にある児童・生徒を対象に自然の中での宿泊合宿を通して仲間づくりの楽しさを体験しながら、自己を見つめ、新たな可能性を見出す機会とする。	不登校の児童・生徒 20/30 100%	9/7～9 2泊3日	宮城県教育委員会
那須 甲子	なすかし “森の学校” 自然体験を通した「総合的な学習の時間」の実践 (小学校編) [新規]	「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	自然の家と地域の学校が有機的連携を図り、学校の教育課程に自然の家での活動を位置付け、自然の家で自然体験活動を行うことによって、「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発を行う。	福島県白河市立五箇小学校 3～6年 77/77 96.0%	10/19～23 4泊5日	福島県白河市五箇小学校・福島県白河市教育委員会・福島県西郷村・福島県白河山岳会・福島県西白河地方森林組合
	スノーライゼーション ふれあい雪ん子 親子ミーティング [継続]	障害児等の体験活動の推進 スノーライゼーション	小中学生の子ども達と障害のある子ども達が冬の自然とふれあう機会を提供するとともに、活動を通して交流を深める。	小中学生及び障害のある小中学生・家族 141/120 97.0%	2/9～11 2泊3日	社会福祉法人「太陽の国」、西郷スキークラブ
信州 高遠	みんな友だち - 土と人 - [継続]	障害児等の体験活動の推進 スノーライゼーション	心身に障害のある子どもをもつ家族と健常児をもつ家族が、農作業や土とふれ合う活動を通して、作物を育てる喜びを味わい、豊かな心を育てるとともに、相互の立場を理解し、共に21世紀の社会を生きていく喜びをもつ。また、障害のある子を支援するボランティアが、活動を通して支援のあり方を学ぶ。	心身に障害のある小中学生を含む家族・グループ 上記以外の小中学生を含む家族・グループ 50/40 100%	6/9～10 11/10～11 各1泊2日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、高遠町教育委員会、信州大学農学部・教育学部
	自然の中で環境スクール - 総合的な学習の時間実践事業 - [新規]	環境教育の推進 「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	環境教育を中心とした体験活動を通して総合的な学習の時間を実施する。児童・生徒が自らの興味関心に基づいて、自然の営みについて観察・調査・発表し、自然と人間や人間同士の関わりについて理解を深めるとともに、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を養う。	愛知県岡崎市立常盤中学校2学年全員 東京都青梅市立成木小学校4・5年 78名 52名 - %	6/16～18 2泊3日 9/27～29 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、高遠町教育委員会
	子ども自然学習隊 - 中央構造線・諏訪湖・天竜川を行く - [新規]	環境教育の推進	自然の家や長野県南部地域の自然や歴史・文化などとのふれあいや観察・調査活動を通して、「環境」への感性や探究心を高める。さらに、環境保全に対して主体的創造的に取り組む態度を養い、環境学習に関するプログラムの開発・普及を目指す。	小学校4年～ 中学3年 40/30 97.0%	11/23～25 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、高遠町教育委員会、信州大学山地水環境教育研究センター、大鹿村中央構造線博物館
妙高	自然の中で「総合」 ～ 総合的な学習の時間～ [継続]	「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	自然の家の自然環境を活用した自然環境に関わる総合的な学習の時間のプログラムを開発し、総合的な学習の時間の活動編としてまとめ、広報・普及に努める。	新潟県内の小学校5校 149/149 - %	通年	三和村里公小学校、新井市新井中央小学校、妙高村大鹿小学校、妙高村原通小学校、妙高村関山小学校

	はつらつジュニア リーダー研修会 [継続]	少年リー ダーの育 成	中学生リーダーとしての資質 を高め、学校生活、学校外生活 に生かせるようにする。	中学生 30/36 100%	8/24～26 2泊3日	
	不登校児童・生徒 体験活動推進事業 「はつらつ体験塾」 [継続]	不登校へ の対応	不登校児童・生徒等が集団への 適応性や円滑な人間関係づくり の資質を高め、自立への一助とす る。	不登校、不登校 傾向にある児童 ・生徒 31/30 93.5% 27/30 81.5%	10/7～8 1泊2日 11/1～4 3泊4日	新潟県教育委員 会、新潟県少年自 然の家
立山	わが町ものしり学 習館 子ども地域活動 促進事業 [継続]	地域活動 の推進	地元立山町の子供たちが町内の 自然や歴史・文化、産業について 実体験を通して学ぶ。	立山町在住 の児童 12/20 91.0%	8/7 8/9 8/27 10/6 10/27～28 1泊2日	
	宇宙の神秘をさぐ る立山少年探偵団 [継続]	科学学習 の展開	星座観察、天体写真撮影、月や 太陽・惑星の観察などを通して、 子ども達に宇宙や自然に対する 興味・関心を培うとともに、科学 する心を育てる。	小学5年～ 中学3年 36/30 80.0%	10/27～28 11/17～18 各1泊2日	
若狭 湾	科学の不思議を体 験！ 科学と遊ぼう！！ [新規]	科学学習 の展開	体験を通して科学への興味関 心を高める。	小学校中・高 学年とその家 族 38/100 - %	5/12	若狭ロータリー クラブ
	大自然はみんなの 友達 [継続]	不登校へ の対応	不登校傾向の児童生徒等が自 然の中で心身をリフレッシュし、 カウンセラーとの相談を通して 自分を見つめ直す機会とする。	不登校傾向の 小・中学生と 保護者学校関 係者 23/30 子ども90.0% 保護者85.0%	6/23～24 1泊2日	
曽爾	みんなで リフレッシュ [新規]	障害児等 の体験活 動の推進	豊かな自然環境の中での活動 を通して、自然に親しみ、いろい ろな人とふれあい、日常生活を離 れてみんなが共にリフレッシュ し、明日への意欲を高める。	多動性傾向の 児童生徒とそ の家族・指導 者 21/20 100%	10/13～14 1泊2日	奈良県立教育研 究所、奈良教育 大学
	おじいちゃんおば あちゃんの知恵袋 [新規]	文化活動 の充実 地域活動 の促進	地域の子供達と高齢者が工 作活動や昔の遊び等の交流を通 して、「生活の知恵」を学び、う るおいのある温かい地域社会の 実現を目指す子どもを育成する。	高齢者及び小 中学生・市町 村の福祉関係 者 74/40 100%	11/24～25 1泊2日	曽爾村教育委員 会、曽爾村社会 福祉協議会
吉備	吉備自然探険隊 “カワセミクラブ” [新規]	環境教育 の推進	自然環境の調査や観察を通し て、探求心や感性を高め、環境保 全に対する主体的・創造的な態度 を養うとともに、自然の家におけ る総合的な学習の時間に対応で きる環境学習の教材開発を行う。	小学4年～ 6年 51/50 71/50 92.9%	7/20～22 11/23～25 各2泊3日	岡山大学資源生 物研究所、加茂 川町林業研究所 、岡山県自然保 護センター、岡 山県教育委員会

	とび出せ学校！ “いきいきスクール” [継続]	「総合的な学習の時間」による学社融合の推進	小学校の一学年全員が自然の家に移動し、各学校のテーマに沿って子ども達が主体となった自然体験活動等を行うことによって、総合的な学習の時間の展開のあり方及び長期利用について研究開発を行う。	鳥取・岡山・広島県の各小学校5年6校 - %	10/1～5 10/8～12 10/15～19 10/22～26 11/5～9 各4泊5日	岡山市立清輝小学校、高梁市立中井小学校、広島県尾市立山波小学校、同本郷町立船木小学校、鳥取県河町立西郷小学校、同智頭町立山形小学校
	悩みを抱える青少年の体験活動推進事業 「とび出せ！一人ぼっち！夢さがしの旅」 [新規]	不登校への対応	児童生徒とその保護者が悩みを語り合い、自然や多くの人々と交流する体験プログラムを開発し、実際にプログラムに参画する中で、不登校問題に対する教職員の役割について考える。また、自然の家が、その特性を生かしたプログラム作りを行う。	不登校等で、屋内にひきこもりがちな小・中学生と保護者、養護学校等へ在籍し、一人では思い切った活動が不自由な小・中学生と保護者 77 - %	夏から冬にかけての25日間 自然の家での活動は 12/25～27 2泊3日	共催：岡山県教育委員会、岡山県内青少年教育施設
	緑の少年団全国大会 [新規]	環境教育の推進	全国の緑の少年団員、指導者等が自然体験活動や情報交換会を行いながら、緑を愛し、緑を育てる心豊かな子どもの育成を図る。	全国の緑の少年団員と引率者及び関係者 392/500 - %	7/25～27 2泊3日	全国の緑の少年団連盟、山口県緑の少年団連絡協議会
山口 徳地	徳地サマーキャンプ [継続]	異年齢交流の推進 地域活動の促進	異年齢グループで様々な自然体験活動等を行うことにより、より効果的に「生きる力」を育み、郷土愛を中心とした豊かな心情等を養う。	徳地町内小・中学生 47/制限なし - %	7/28～29 1泊2日	共催：徳地町
	心のふれあい体験キャンプ [継続]	不登校への対応	自然の中で、臨床心理専門家の支援のもと、親と子が自由にゆとりをもったペースで自然や人にふれあうことにより、自分を見つめ、心の安定と成長を図る。	不登校児童生徒、保健室登校児童生徒と保護者及び教育関係者 37/30 93.0%	3/8～10 2泊3日	
	子ども自然科学教室 [継続]	環境教育の推進	海水を採集してプランクトンなど海の生物を観察するとともに、潮流や潮位の観測を行い、海についての関心や理解を高める。	小学校高学年及び中学生 40/40 92.5%	5/26～27 1泊2日	
室戸	讃岐・土佐フレンドシップ in 室戸 [継続]	広域的交流	両県の子ども達が室戸の大自然の中で野外活動を行い、交流を深めるとともに、自主性や社会性を深める	香川県・高知県の小学5年～中学3年 54/80 92.6%	8/3～6 3泊4日	香川県教育委員会
	国際ビーチクリーンアップ in 室戸 [新規]	環境教育の推進	毎年9月に開催される世界一斉の「国際ビーチクリーンアップ」を室戸でも開催し、海岸漂着物の現状を調査し、環境教育の充実を図る。	小・中学生とその家族 45/40 100%	9/23～24	クリーンアップ全国事務局
	「海」を活用した総合的な学習 「日本版ウォーターワイズ」	自然体験活動の充実 環境教育の充実	黒潮の恩恵を受けた身近な海を活用して、海の活動を体験するだけでなく、これらの活動を通して海に親しみ、海からの恩恵を学ぶ、海について理解を深め、海の環	高知県下の特定小学校 1校 39名 100%	10/9～12 3泊4日	日本マリンスポーツ普及教育振興協会、全日本潜水連盟、日本海洋学会、クリ

	[新規]		境問題を考えるとともに海での基本的な安全知識（危険回避）を身に付ける。			ーンアップ全国事務局
	子ども 自然科学教室 [継続]	環境教育 の推進	室戸岬周辺（山・海）の植物観察などの自然体験を通して、自然への理解や関心を深めるとともに自然保護の心を培う。	小学校高学年～中学生 26/40 96.2%	10/13～14 1泊2日	
	子ども 自然科学教室 （小学校低・中学年） [継続]	環境教育 の推進	野山の動物や星座を観察したり動物たちの生息状況を調べ、自然への理解や関心を深めるとともに自然保護の心を培う。	小学校低・中学年と保護者 39/40 96.8%	1/26～27 1泊2日	
夜須 高原	未知へのトライアル [継続]	科学学習 の展開	自然観察や科学実験を通して、科学的なものの見方や考え方を育成し、自然の理解を深める。	小学校4～中学3年 66/60 100%	10/27～28 1泊2日	福岡青少年科学館
	大隅科学教室 高隈山地質探検隊 [継続]	科学学習 の展開	高隈山周辺を探検して地層を調べたり、岩石や鉱物・化石等を採集して調べたり、クラフトに利用することにより、地質に関する関心を高めるとともに人間生活との関わりを考え、科学する心を培う。	小学5年～中学3年 54/50 96.3%	5/12～13 1泊2日	
大隅	いきいきキャンプ [継続]	不登校への対応	学校や友達関係で悩む児童生徒とその兄弟姉妹や友達が、野外活動を通して自分らしさの発見や心身のリフレッシュを図り、たくましさを身につけ、社会への適応力を高める。また、保護者・関係者へのカウンセリングを行い子育てについて理解を深める。	不登校児童・生徒及びその保護者並びにその関係者 8/30 - %	8/26～29 3泊4日 9/22	鹿児島大学、九州保健福祉大学、鹿屋体育大学

オ 公立施設職員を対象とした研修事業・交流事業の実施

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者 / 定員満足度	実施期間	共催 連携団体
日高	青少年教育施設職員研修会 [継続]	道内教育施設の指導系職員が、青少年教育施設の現状や今日的課題について研究協議を深め、資質向上と相互の交流を図る。	青少年教育施設職員 36/30 91.4%	9/26～28 2泊3日	北海道青年の家連絡協議会
那須 甲子	全国少年自然の家職員等専門研修～子どもの感性・創造力をはぐくむ試み～ [継続]	自然の家の職員等が自然の中で新しい手法により感性・創造性を引き出すワークショップ等の実践を通じて、自然体験活動の教育的効果について研修することにより、指導系職員としての専門性を高める。	全国少年自然の家等の指導系職員・教育・その他関心のある者 23/30 83.3%	11/6～9 3泊4日	ライトブレインリサーチ

妙高	少年自然の家等職員研修会 (再掲) [継続]	青少年の学校外活動の充実のため 青少年教育施設の今日的な課題につ いて、広域的な視点で協議し、少年 自然の家等職員の資質向上を図る。	国・公立少年自然 の家等の職員 24/30 84.2%	12/5～7 2泊3日	
若狭 湾	東日本国立青少年 教育施設職員研修 / 公立青少年教育 施設職員研修 (再掲) [継続]	施設職員が一堂に会し、施設の事 業運営、業務改善について協議をお こなう。また、施設職員としての専 門的知識や技術等の情報交換を行う 中から、ネットワークの構築を図り 今後の事業運営等に役立てる。	国立青少年教育 施設職員、近畿地 区等公立施設職 員 30/40 96.0%	11/20～22 2泊3日	共催：国立曽爾 少年自然の家
山口 徳地	中国・四国地区自 然の家職員セミナ ー (再掲) [継続]	中国・四国地区少年自然の家の職 員が当面する課題について研究協議 し、指導者としての能力の向上を図 るとともに施設間の連携・交流を図 る。	中国・四国地区自 然の家職員等 30/25 90.0%	12/5～7 2泊3日	共催：国立吉備 ・室戸少年自然 の家
	国立・県立青少年 教育施設所長等協 議会 [継続]	県内の国公立青少年教育施設の所 長等が出席し、新しい時代に対応し た青少年教育施設の在り方について 協議する。	山口県内の国・公 立青少年教育施 設の所長 10/15 - %	3/13～14 1泊2日	
夜須 高原	九州地区公立少年 自然の家職員研修 (再掲) [継続]	公立少年自然の家の職員に必要な 専門的知識や技術の習得を図る とともに、研究協議を通して施設職 員の資質を高める。	九州地区公立自 然の家・国立自然 の家 職員 50/50 90.0%	2/13～15 2泊3日	共催：国立大隅 ・諫早少年自然 の家，
大隅	全国少年団体指導 者研修 [新規]	少年団体の指導者が一堂に会し、 少年活動の現状や今日的課題につ いて協議を深め、少年団体指導者とし ての資質の向上を図ると共に少年団 体活動の活性化を図る。	少年団体指導者、 少年団体行政担 当者、教員、青少 年施設職員 50/50 85.0%	12/1～2 1泊2日	

カ 地域の青少年施設との連携ネットワーク化の推進

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者 / 定員満足度	実施期間	共催 連携団体
日高	青少年教育施設職 員研修会 「再掲」 [継続]	道内の国公立青少年教育施設の 指導系職員が一堂に会し、施設の 現状や今日的課題について研究協 議し、職員の資質向上を図るとと もに、施設間の連携を進める。	青少年教育施設職 員 36/30 91.4%	9/26～28 2泊3日	連携：北海道青年 の家等連絡協議 会
花山	東北地区青少年教 育施設ボランティア 研修会 [新規]	青少年教育施設におけるボラン ティアの指導力を向上させ、今後 のボランティア活動の在り方及び ボランティア活動の理論や技術を 学ぶ。	東北地区青少年教 育施設ボランティ ア 20/20 95.0%	2/23～24 1泊2日	

那須 甲子	F I T 子ども交流キャン プ [継続]	福島(F)・茨城(I)・栃木(T)の子 ども達が、茨城県さしま少年自然の 家・栃木県小川町(民泊) 那須甲 子少年自然の家で宿泊しながら、共 同生活や様々な体験活動を行い交 流を深めるとともに、ブロック内施 設間の連携事業のモデルとする。	福島・茨城・栃木県 在住の小学5年～ 中学3年 募集: 各県10名程度 33/30 84.8%	7/22～26 4泊5日	共催:茨城県立さ しま少年自然の 家
若狭 湾	レッツ トライ アクアスポーツ [継続]	海や湖でアクアスポーツの楽し さを体感するとともに、協力するこ との大切さを知る。	小学5年 ～中学3年 31/30 100%	7/20～22 2泊3日	連携:福井県海浜 自然センターな ど
吉備	岡山県青少年教育 施設連絡協議会職 員研修会 [継続]	岡山県内の国公立青少年教育施 設職員が一同に会し、施設・事業運 営上の諸問題、今日的な諸課題等に 積極的に取組み、職員の資質向上、 県内施設全体のレベルアップを図 るとともに、施設相互の連携を推進 する。	青少年教育施設 職員 のうち、事業系 担当職員 のうち、庶務系 担当職員 58 33 30 - %	4/9 11/13～14 1泊2日 2/12～13 1泊2日	共催:岡山県青少 年教育施設連絡 協議会
	悩みを抱える青少 年の体験活動推進 事業 「とび出せ! 一 人ぼっち! 夢さが しの旅」 [新規]	児童生徒とその保護者が悩みを 語り合い、自然や多くの人々と交流 する体験プログラムを開発し、実際 にプログラムに参画する中で、不登 校問題に対する教職員の役割につ いて考える。また、自然の家が、そ の特性を生かしたプログラム作り を行う。	不登校等で、屋内に ひきこもりがちな小 ・中学生と保護者、 養護学校等へ在籍し 、一人では思い切っ た活動が不自由な小 ・中学生と保護者 77 - %	夏から冬にか けての25日間 自然の家で の活動は 12/25～27 2泊3日	共催:岡山県教育 委員会、 岡山県内青少年 教育施設
室戸	牟岐・幡多・室戸 を結ぶ海洋体験の つどい [継続]	海での活動を通して両県の子ど も達が交流を深め社会性を身につ けるとともに、海洋についての関心 や探求心を育てる。	高知県・徳島県の小 学校5年～中学3 年 62/90 86.7%	7/25～27 2泊3日	共催:徳島県立 牟岐少年自然の 家、高知県立幡 多青少年の家 会場:牟岐

キ その他少年の健全育成を図るための事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員満足度	実施期間	共催 連携団体
日高	少年サッカー フェスティバル ～めざせJリーグ～ [継続]	Jリーグを目指す全道のサッカ ー少年団の親子が集い、交流試合 を行うとともに、宿泊体験を通し て、親子の交流や他家族との交流 を行う。	道内少年サッカー チーム 561/400 83.7% 88/400 88.6%	9/15～16 11/3～4 各1泊2日	

妙高	オリンピック巡回指導事業 「三ヶ田選手と滑ろう！語ろう！」 [新規]	日本を代表するオリンピック選手を招き、地域の青少年・成人への実技講習会や講演会を通して、心身の健全な育成を図るとともに、オリンピックへの理解を深める。	小学3年～高校生までのクロスカントリースキー競技に取り組んでいる者及び一般 54/70 講演会 180/200 - %	2/16～17 1泊2日	(財)日本オリンピック委員会
立山	オリンピック巡回指導事業 より早くより強く1000分の1秒への挑戦 競技スキーのテクニック [新規]	日本を代表するオリンピック選手を招き、地域の青少年・成人への実技講習会や講演会を通して、心身の健全な育成を図るとともに、オリンピックへの理解を深める。	中学生～高校生及びスキー指導者 87/80 - %	3/2～3 1泊2日	(財)日本オリンピック委員会
吉備	オリンピック巡回指導事業 国少旗争奪新春小学生バレーボール交流大会 [継続]	日本を代表するオリンピック選手を招き、スポーツを通して青少年の心身の健全な育成を図る。また、小学生バレーボールの技術・チームワークの向上を図り、少年団体活動の振興に資する。	小学生とその家族及び指導者 宿泊365/200 日帰り356/350 - %	1/12～13 1泊2日	(財)日本オリンピック委員会
山口徳地	山口徳地スポーツ少年のつどい 「サッカースクール」 [継続]	自然の素晴らしさを味わいながら、サッカーの基礎技術や応用技術の習得を通して参加者の交流を行い、児童の健全育成を図る。	小学生 161/100 262/100 133/100 85/100 - %	6/23～24 7/7～8 9/22～23 12/1～2 各1泊2日	
	山口徳地スポーツ少年のつどい 「バレースクール」 [継続]	自然の素晴らしさを味わいながら、バレーの基礎技術や応用技術の習得を通して参加者の交流を行い、生徒の健全育成を図る。	中学生 370/100 - %	1/12～13 1泊2日	
	山口徳地スポーツ少年のつどい 「ジュニア空手道スクール」 [継続]	参加者が互いに切磋琢磨することによって、正義感、道德感、豊かな人間性を養うとともに、たくましく健康的な身体の発達を促すことによって「生きる力」をはぐくむ。	小・中学生とその保護者、一般 271/100 88.0%	3/23～24 1泊2日	
室戸	自然の家中学生バレーボール大会 [継続]	高知県の中学生在がバレーボールを通じて交流を深め、部活動への参加意欲を高める。	高知県の中学生女子バレーボールチーム 97/100 67%	11/10～11 1泊2日	
	冬に鍛える三四郎のつどい [継続]	四国四県の子ども達が柔道を通じて交流を深めるとともに、各地域での学校外活動への参加意欲を一層深める。	柔道をしている四国4県の小学4年～小学6年とその家族 314/200 100%	11/23～24 1泊2日	
大隅	オリンピック巡回指導事業 きみもオリンピック選手と野球をしよう [新規]	日本を代表するオリンピック選手を招き、地域の青少年・成人への実技講習会や講演会を通して、心身の健全な育成を図るとともに、オリンピックへの理解を深める。	中学生及びその指導者 77/80 - %	3/9～10 1泊2日	(財)日本オリンピック委員会

〔別添資料 7〕

(2) 学校週5日制対応事業についての取組状況

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期日	共催・ 連携協力団体
日高	地球ファミリー大集合 [継続]	外国人とその家族が、日本の伝統芸能の鑑賞、祭りの体験を通して、日本文化や生活への理解を深める。	外国人の子どもと家族 172/100 95.8%	7/14～15 1泊2日	
	全国ファミリーウォークデーin日高 [新規]	自然の恩恵に触れ、ウォーキングを通じて家族の絆や、家族相互の交流を深める。	小・中学生を もつ家族 65/100 83.6%	10/27	全国少年自然の家連絡協議会他
	チャレンジスキー教室 [新規]	スキーに触れる機会の少ない地域の子どもたちに、スキーの基本操作や、楽しく滑る技術を身に付けさせる。	小・中・高校生 及びその家族 120/100 96.6%	2/23～24 1泊2日	
花山	親子ネイチャー教室 [継続]	森林を散策し、自然とのふれあいや創作活動を通して、親子の絆を一層深め、家族相互の交流を図る。	小・中学生と その家族 72/50 90.9%	6/23～24 1泊2日	宮城県伊豆沼・内沼環境保全団体、フォレストファーム
	集まれ「花山湖秋まつり」へ！ [継続]	地元のまつりや郷土の文化にふれながら、自然散策や創作活動などを通じて、親子の絆を深め、家族相互の交流を図る。	小・中学生と その家族 30/50 100%	10/6～7 1泊2日	花山湖秋祭実行委員会
	みんなで歩こう秋の花山 ～全国ファミリーウォークデー～ [継続]	紅葉の時期の景観と自然の豊かさを味わいながら、ウォーキングを楽しみ、親子の絆を深める。	小・中学生とその家族など 142/150 —%	10/27	全国少年自然の家連絡協議会他
那須 甲子	お父さん・お母さんのための「林業体験講座」 [新規]	自然体験活動の機会の少ない父親・母親に様々な林業体験を提供することで自然体験学習の促進を図る。	小・中学生を もつ親 36/30 93.8%	5/4～5 1泊2日	福島県南農林事務所他
	なすかしの森ファミリーフェスティバル [継続]	施設を広く地域に開放し、自然の中での活動を通して親子の絆を深め、自然の家への理解を深める。	家族、一般 日帰り含む 延べ参加者 1,512名 —%	10/7～8 1泊2日	西郷村 民間教育団体
	おかあさんのための「子ども発見講座」 [継続]	母親に自然体験活動の機会を提供することにより、子育てや子どもとの関わり合いを学ぶ機会とする。	平日に参加できる母親 15/20 93.3% 13/20 100% 23/20 100%	12/19 1/30 3/12	

	スノーライゼーション ふれあい雪ん子 親子ミーティング [継続]	小・中学生の子どもたち及び障害のある子どもたちとその家族に、冬の自然とふれあう機会を提供するとともに、活動を通して交流を深める。	小・中学生とその家族及び障害のある小・中学生とその家族 141/120 97.0%	2/9～11 2泊3日	社会福祉法人「太陽の国」 西郷スキークラブ
信州 高遠	氷点下の世界 - 信州たかとお、家族 冬季体験 [新規]	氷点下の世界での活動を通して、未知なる自然との出会いと発見の喜び、厳冬の自然と生活を創造する楽しさを味わう。	小・中学生とその家族 86/30 100%	2/9～11 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県教育委員会、高遠町教育委員会、茅野市カーリング協会
妙高	学校週5日制対応事業 「妙高の自然に親しむ会」 [継続]	自然体験や宿泊体験を通して豊かな感性や他者への思いやり・生命を大切にすることを身につける。	小・中学生とその家族 (募集人数不定) 4 / 2 8 3 3 名 4 / 3 0 5 2 名 5 / 4 4 5 名 5 / 5 5 4 名 5 / 2 7 2 0 名 7 / 1 4 1 1 名 8 / 1 1 5 3 名 8 / 1 2 1 0 3 名 9 / 8 1 2 名 1 0 / 1 4 1 0 名 1 0 / 2 7 3 3 名 1 2 / 2 3 5 5 名 1 2 / 2 4 2 2 名 1 / 1 2 3 3 名 1 / 1 3 3 0 名 3 / 9 5 0 名 3 / 1 0 3 2 名 計 6 4 8 人 87.0%		
	MYOKO光と風の フェスティバル 2001 [継続]	自然の家を広く開放し、施設の特色や事業についての理解を深めるとともに、様々な活動を体験する機会を提供する。	家族・一般 1,537/2,000 83.8%	9/22～23 1泊2日	妙高村、妙高村教育委員会
立山	みんなおいでよ！ 立少フェスティバル [新規]	自然の家のフィールドを舞台に楽しいイベントに数多く挑戦し、新緑の森で楽しい一日を過ごす。	一般 約900/300 97.0%	5/13	
	ふれあい ファミリー登山 [継続]	親子で自然の家周辺の山々を登山して、自然に触れたり山についての豆知識を身につけ、親子の相互理解・絆を深める。	小・中学生とその家族 48/60 90.0%	5/26～27 1泊2日	富山・石川・新潟県教育委員会、(財)とやま環境財団(社)とやま緑化推進機構、富山県PTA連合会(社)富山県児童クラブ
	木々と友だち ネイチャ・ファミリー [継続]	親子で森のしくみを調査したり林業体験活動を通じ、環境保全の意識を培うとともに、親子の絆を深める。	小・中学生とその家族 55/60 95.0%	6/9～10 1泊2日	
	森の恵みを味わう ファミリーキャンプ [新規]	森での食材集めや森の恵みを生かした郷土料理作りなど、森の生活を通して、先人の食文化にふれ、親子の絆を深める。	小・中学生とその家族 96/60 93.0%	10/13～14 1泊2日	
	えぼし岩冬のつどい [継続]	少年年自然の家と地元芦峯寺地区住民との交流を通して互いを理解し合い、連携を図る。	芦峯寺地区住民 147/150 90.0%	12/15～16 1泊2日	芦峯成壮年会、芦峯公民館等

若狭湾	ふれあい若狭湾4月 ふれあいキャンプ i n t ビー [継続]	自然の中で力を合わせ生活・活動する中で、家族の絆を深め自分自身を見つめたり、家族と語る中で家族を再認識する。	小・中学生とその家族 75/60 96.0%	4/28～29 1泊2日	
	ふれあい若狭湾6月 梅は甘いか酸っぱいか？ 梅もぎと梅食品づくりに挑戦！ [継続]	農業の楽しさ、喜び、苦労の一端を体験し、食品をつくる楽しみを体験する。	小・中学生とその家族 58/80 100%	6/9～10 1泊2日	J A 三方五湖
	ふれあい若狭湾10月 大漁だ？とれたて、いきいき秋の海 [継続]	漁業の楽しさ、喜び、苦労の一端を知るとともに、魚さばきを体験する。	小・中学生とその家族 74/80 93.0%	10/6～7 1泊2日	地元漁家
	祭 ～夢空間 i n t ビー～ [継続]	自然の家をより多くの人に知ってもらうとともに、地域との連携を強める。	参加者無制限 271/200 —%	10/27～28 1泊2日	ソニー教育振興財団 他
	ふれあい若狭湾11月 トビーの鳥は友達 [継続]	巣箱作りを通して動物保護の意識の高揚を図るとともに、身近な鳥に興味をもたせる。	小・中学生とその家族 56/40 91.0%	11/10～11 1泊2日	日本野鳥の会、福井嶺南振興局
	ふれあい若狭湾3月 味わい100%！ 燻製と菌打ちにチャレンジ！ [継続]	自然の恵みや人の技にふれるとともに、家族や仲間とふれあいを深める。	小・中学生とその家族 72/50 100%	3/9～10 1泊2日	
曽爾	エンジョイ家族 「春の曽爾高原にレッツゴー！」 [継続]	新緑の曽爾高原で、山菜つみやハイキングをする。	小・中学生とその家族 70/60 82.4%	5/12～13 1泊2日	
	エンジョイ家族 「曽爾の山や川で遊ぼう」 [継続]	曽爾高原での共同体験活動を通して家族の心の交流を深める。 自然の家を周知し、家族自らが独自で利用や活動ができるきっかけとする。また、ボランティア研修の場とする。	小・中学生とその家族及びグループ 110/100 96.3%	7/14～15 1泊2日	
	エンジョイ家族 「秋の【室生寺】と【曽爾高原】エンジョイウォーク」 [継続]	家族で室生寺の秋や曽爾高原を散策し、親と子どもの絆を深める。	小・中学生とその家族 69/40 100%	10/27～28 1泊2日	
	エンジョイ家族 「冬の曽爾高原を写そう」 [新規]	曽爾高原の冬にふれ、写真を通して冬の素晴らしさを体感し互いに分かちあう。	小・中学生とその家族など 47/30 100%	1/26～27 1泊2日	
吉備	きびのくに わくわく・どきどきクラブ [継続]	少年自然の家が持つ豊かな自然環境を活用し、親子創作活動や自然体験などを通し、お互いを理解し、共通の達成感を得るとともに、家庭教育力の一助とする。	小・中学生とその家族 70/100 99/100 85/100 124/100 92.3%	4/28～29 6/9～10 9/8 ～9 12/8～9 各1泊2日	

	吉備高原 車いすふれあいロードレース [継続]	自然の中で、障害のある者もない者も共に参加・競走し、相互理解・交流を深めるとともに健康や体力の保持増進と自立意欲の向上を図る。	選手、一般参加者 宿泊 330 日帰り2,856 - %	10/13 ~ 14 1泊2日	岡山吉備高原 車いすふれあいロードレース大会組織委員会 他
	施設開放事業 ～チアフルデー～ 少年自然の家まつり [継続]	自然の家の事業や運営について広く理解を深めてもらうとともに、地域との連携を図る。 (11月4日は日帰り参加可)	家族・団体・地域住民 宿泊278/200 日帰り3,935 100%	11/3 ~ 4 1泊2日	賀陽・加茂川 町教育委員会
山口 徳地	春の自然探検隊 [継続]	森・林の中での様々な自然探検を通じて、自然環境を多面的に考えるとともに、自然体験活動のアクティビティを開発する	小・中学生 23/30 100%	5/12 ~ 13 1泊2日	
	第7回徳地MTB森 のフェスタ [継続]	MTB愛好者による本格的なレース等での「体力」向上による「生きる力」をはぐくむ。また、地域との交流を深め、自然の家に対する理解を深める。	グループ・サークル・家族等 1164/500 86.0%	11/10 ~ 11 1泊2日	第7回徳地 MTB・森のフェスタ実行委員会
	佐波川をゆく [新規]	林野・河川を探訪しながら、地域の人々の生活、産業、歴史への関心を深め、自然環境を多面的に考える。	小・中学生及び保護者 24/30 100%	11/24 ~ 25 1泊2日	徳地町、近畿 中国森林管理局、島地川ダム管理事務所
	冬の自然探検隊 [継続]	森・林の中での様々な自然探検を通じて、自然体験活動のアクティビティを開発する。	小・中学生 32/30 100%	2/9 ~ 10 1泊2日	
	第8回徳地MTB森 のフェスタ [継続]	MTB愛好者による本格的なレース等での「体力」向上による「生きる力」をはぐくむ。また、地域との交流を深め、自然の家に対する理解を深める。	グループ・サークル・親子など 266/200 - %	3/21	
室戸	自然の家ファミリー ウィーク [継続]	参加グループが期日や活動を自由に選び、自然の中で楽しく過ごすことにより、家族・友人間の交流を深める。	家族など 636/600 91.4%	5/3 ~ 6 3泊4日	
	親子釣り大会 [新規]	釣りを通して自然に親しむとともに親子・グループ間の触れ合いを深める。	家族など 44/80 30/80 91.3%	6/16 ~ 17 10/20 ~ 21 各1泊2日	
	海のつどいin室戸 (カヌー) [継続]	海洋活動を通して、親子の交流を図るとともに海との安全な接し方を学び、海への夢や冒険心を育む。	小学校高学年・中学生とその家族 39/30 100%	7/8	
	海のフェスティバル [新規]	マリンスポーツの活動を通して、家族・友人間の交流を図るとともに、海への夢や冒険心を育てる。	家族など 138/100 - %	7/20 ~ 21 1泊2日	室戸市、土佐 室戸鯨船保存会
	海のつどいin室戸 (シュノーケリング) [継続]	シュノーケリングを通して、親子の交流を図るとともに海との安全な接し方を学び、海への夢や冒険心を育てる。	小学校高学年・中学生とその家族 64/30 87.0%	8/26	

	楽しいファミリーキャンプin室戸 [継続]	家族で週末を楽しむファミリーキャンプについて理解するとともに、用具の使い方などを習得する。	家族 4/10家族 (20名) 100%	10/6～8 2泊3日	
	室戸くろしお祭り [継続]	施設を開放し野外活動や各種団体のイベントで、家族・友人間の交流を深める。	家族など 宿泊：150/150 日帰り916人 91.7%	10/27～ 28 1泊2日	
	室戸岬一周完歩 [継続]	家族やグループで室戸の自然を満喫するとともに、参加者間の交流を深め、健康増進への意識を高める。	家族など 宿泊56/100 日帰り180人 92.1%	1/12～13 1泊2日	
夜須 高原	全国ファミリーウォークデー [継続]	自然の家周辺でのウォーキングを通して、自然に触れ、家族のコミュニケーションや絆を深め、自然の家の理解を図る。	小・中学生とその家族など 163/200 90.0%	10/27	福岡・佐賀・熊本・大分各教育委員会、
	夜須町かがし祭り [継続]	夜須町のかがし祭で、施設の活動プログラムを提供及び指導することにより、自然の家への理解と利用促進を図る。	幼稚園児、小・中学生とその家族 250人 80.0%	11/3	夜須町かがし祭
諫早	ファミリー・エコキャンプ [新規]	自然の不思議さ、すばらしさに気づき、自然の大切さを体感するとともに、日常生活における身近な環境の保護を考える。	家族 (募集12組) 10組：38人 100%	5/12～13 1泊2日	
	自然の家まつり [継続]	自然の家を開放し、野外活動、スポーツ・文化活動等を通して、参加者相互の交流を図り、地域住民と自然の家との連携を深める。	小・中学生とその家族 824/300 - %	10/28	長崎県教育委員会 諫早市教育委員会 FM諫早 長崎県キャンプ協会
	自然科学教室 「科学のとびら」 [継続]	自然の家や周辺での実験や観察を通じて、楽しみながら科学に対する興味・関心を高める。	小・中学生とその家族 103/100 97.0%	11/10～ 11 1泊2日	長崎県教育委員会・国立教育政策研究所
	自然の家・冬物語 ・風の子あつまれ [新規]	地域に伝わる行事や昔の遊び等を通じ、日本の伝統文化について理解を深めるとともに、参加者相互の友情を深める。	小・中学生とその家族 105/100 95.0%	12/8～9 1泊2日	
	自然の家・冬物語 ・春よ来い [継続]	地域に伝わる行事や昔の遊び等を通じ、日本の伝統文化について理解を深めるとともに、参加者相互の友情を深める。	小・中学生とその家族 129/100 97.0%	2/23～24 1泊2日	
大隅	楽しい親子キャンプ スプリングキャンプ・ オータムキャンプ [継続]	キャンプやハイキング等の活動で、心身のたくましさや豊かな心を養うとともに、親子の絆を深め、参加者相互の交流を図る。	5歳～小学3 年を含む家族 29家族/25家族 92.0% 25家族/20家族 97.6%	4/28～29 10/27～ 28 各1泊2日	鹿児島県キャンプ協会
	大隅科学教室 親子科学教室 [継続]	親子で科学に関する学習をする中で科学への興味関心を深めながら、親子の絆を深めたり参加者相互の交流を図る。	小学校低学年 とその保護者 70/50 88.0%	6/9～10 1泊2日	

	ファミリーウォークデー [継続]	親子やグループでのハイキングで、自然に親しみ、参加者相互のふれあいを通して心身のリフレッシュを図る。	小・中学生とその家族、一般 53/100 100%	10/14	
	秋の夜空の観察会 [継続]	星座の観察を通して宇宙の神秘、地球のすばらしさを認識するとともに、科学への興味・関心を持たせる。	小・中学生とその家族、一般 98/100	10/20	
	おおすみくん家フェスティバル [継続]	自然の家を開放し、様々な自然体験活動を体験し、施設への理解を促すとともに、地域に根ざした施設づくりを目指す。	子どもと一般成人 543/300 79.0%	11/24 ~ 25 1泊2日	周辺市町
	チャレンジナイトウォーク ～ なつかしの大隅鉄道駅めぐり～ [継続]	ナイトウォークに関心のある人々が一同に集い、「大隅鉄道」の駅跡を辿りながら、ふるさとの発展に尽くした鉄道の歴史をふりかえるとともに、参加者相互の交流を図る。	小・中・高生を含む家族、一般・少年団体・少年団体指導者 214/200 85.0%	3/9 ~ 10 1泊2日	串良町、吾平町、高山町、鹿屋市 (教育委員会)

(3) プログラムの開発及び普及状況

プログラム開発事業への取組実績

ア 「総合的な学習の時間」に対応したプログラムの開発

	事業名	開発した内容	対象者・参加者/定員 満足度	実施期日	共催・連携団体
日高	異学年異学校交流 推進事業～プロジ ェクト兄弟姉妹～	異なる学年、異なる学校の児童生徒の交流を通じた「総合的な学習の時間」のプログラム開発	鶴川町立鶴川中学校2年・苫小牧市立明野小学校5年 当麻町立当麻中学校2年・白老町立緑丘小学校5年 310名 88.3%	8/27～28 1泊2日 8/30～31 1泊2日	北海道教育大学旭川校、鶴川町立鶴川中学校、苫小牧市立明野小学校、当麻町立当麻中学校、白老町立緑丘小学校
那須 甲子	なすかし“森の学校”～自然体験を通じた「総合的な学習の時間」の実践（小学校編）	小学校と少年自然の家の有機的連携による「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発	福島県白河市立五箇小学校3年～6年 77名 96.0%	10/19～23 4泊5日	ライトブレインリサーチ 白河市・西郷村教育委員会 白河山岳会
信州 高遠	自然の中で環境スクール～「総合的な学習の時間」実践事業	環境教育を中心とした体験活動を通じた「総合的な学習の時間」のモデル事業の開発	愛知県岡崎市立常磐中学校2年 東京都青梅市立成木小学校4・5年 78名 52名 - %	6/16～18 9/27～29 各2泊3日	愛知県岡崎市立常磐中学校、東京都青梅市立成木小学校 長野・山梨・埼玉各県教育委員会 高遠町教育委員会
妙高	自然の中で「総合」～普及編～ ～研究開発編～ ～授業実践編～	少年自然の家の自然環境に関わる「総合的な学習の時間」のプログラム開発	普及 教職員ほか教育関係者、教職を志す学生 110/50 84.2% 研究開発 小・中学校の教職員 8名 — % 授業実践 三和村里公小学校4年 新井市新井中央小学校4年 妙高村大鹿小学校3・4年 妙高村原通小学校4年 妙高村関山小学校5年 計187名 - %	6/15～17 2泊3日 通 年 6/5～7 1泊2日 9/19 10/5 10/26 11/5	三和村里公小学校、新井市新井中央小学校、妙高村大鹿小学校、妙高村原通小学校、妙高村関山小学校
吉備	とび出せ学校！ “いきいきスクール”	学校のねらい・テーマに沿った「総合的な学習の時間」のプログラム開発	鳥取県・岡山県・広島県の各2小学校の5年生 177/177 100 %	10/1～5 10/8～12 10/15～19 10/22～26 11/5～9 各4泊5日	岡山市立清輝小学校、高梁市立中井小学校、広島県尾市立山波小学校、同本郷町立船木小学校、鳥取県河町立西郷小学校、同智頭町立山形小学校各5年生

イ 子どもの感性、創造性等を育むプログラムの開発

	事業名	開発した内容	対象者・参加者/定員 満足度	実施期日	共催・連携団体
那須 甲子	全国少年自然の家職員等専門研修	感性・創造性を引き出すワークショップ等の実践を通して「気づき」「ものの見方」を高めるプログラムの開発～	全国の少年自然の家等の指導系職員・教員など 23/30 83.3%	11/6～9 3泊4日	ライトブレインリサーチ、福島県白河市立五箇小学校
	なすかし 森の学校～自然体験を通じた「総合的な学習の時間」の実践 [再掲]		福島県白河市立五箇小学校 3年～6年 77名 96.0%	10/19～23 4泊5日	

ウ 異地域、異学校間の体験交流プログラムの開発

	事業名	開発した内容	対象者・参加者/定員 満足度	実施期日	共催・連携団体
日高	異学年異学校交流推進研究会～プロジェクト兄弟・姉妹 (再掲)	異なる学年、異なる学校の児童生徒の交流体験プログラムの開発	鶴川町立鶴川中学校 2年・苫小牧市立明野小学校 5年 当麻町立当麻中学校 2年・白老町立緑丘小学校 5年 310名 88.3%	8/27～28 1泊2日 8/30～31 1泊2日	北海道教育大学旭川校、鶴川町立鶴川中学校、苫小牧市立明野小学校、当麻町立当麻中学校、白老町立緑丘小学校

エ 現代的課題・今日的課題に関する事業プログラムの開発

	事業名	開発した内容	対象者・参加者/定員 満足度	実施期日	共催・連携団体
日高	森の少年保安官	少年自然の家に隣接する国有林を活用した林業体験プログラムの開発	中学2年生 59/60 94.9%	8/23～24 1泊2日	日高北部森林管理署
花山	第23期 花山ボランティアスクール	ボランティア養成研修を通して、自然体験活動推進協議会(CONE)自然体験活動リーダー初級認定資格の取得が可能なプログラムの開発	大学生、一般成人 50/30 —%	8/23～26 3泊4日	くりこま高原自然学校
那須 甲子	お父さん、お母さんのための「林業体験講座」	保護者を対象とした自然体験学習を促進するための「林業体験」プログラムの開発	小中学生をもつ親 36/30 93.8%	5/4～5 1泊2日	福島県南農林事務所、西白河地方森林組合
	お母さんのための「子ども発見講座」	母親が自然の中での活動を体験しながら、子育て、子どもとの関わり合いが学べる学習プログラムの開発	15/20 93.3% 13/20 100% 23/20 100%	12/19 1/30 3/12	

信州 高遠	みんな友だち - 土と人 -	心身に障害のある子どもを持つ家族と健常児を持つ家族が協力しながら農作業を体験し、相互の理解を深めるプログラムの開発	心身に障害のある小中学生を含む家族 上記以外の 小中学生を含む家族 50/40 100%	6/9～10 11/10～11 各1泊2日	長野・山梨・埼玉各 県教育委員会、高遠 町教育委員会、信州 大学農学部・教育学 部
	都会っ子あつま れ！ - 農作業（田植 え、稲刈り）体験を しよう -	農作業を通して作物を 育て、収穫するまでの過程 を理解し、農業に携わる 人々の苦労・喜びを体験で きるプログラムの開発	小学5年～中学3 年 小学5年～中学 3年及び小中学生を 含む家族・グループ 40/40 100%	5/12～13 1泊2日 9/22～24 2泊3日	長野・山梨・埼玉各県 教育委員会、上伊那広 域連合、高遠町教育委 員会、中央青少年団体 連絡協議会、信州大 学教育学部
	中山道・甲州街道徒 歩旅行 - 仲間とつく る6泊7日 -	街道とその周辺での活 動を通して、昔ながらの生 活・文化体験を通して、歴 史の重みと先人の知恵・自 然の恩恵を学ぶプログラ ムの開発	小学4年～中学3年 27/30 100%	8/1～/7 6泊7日	高遠町教育委員会、長 野・山梨・埼玉各県教 育委員会、上伊那広域 連合、山梨大学教育人 間科学部、信州大学教 育学部
妙高	悩みを抱える青少年 を対象とした体験活 動推進事業 オープン・ザ・ドア 「太平洋から日本海 へ」	非行・問題傾向の中学生 が社会性や自信の回復、自 立心を育成するための冒 険プログラムの開発	非行・不登校の中学生 8/15 - %	9/1～25 24泊25日 1/12～14 2泊3日	(有)アウトドア・ エデュケーションセ ンター 新潟県教育委員会
	妙高キッズアドベン チャー	問題解決能力、協調性、 主体的な態度など「生きる 力」を育む長期キャンププ ログラムの開発	小学校5年～中学校 3年生 夏期 30/30 冬期 19/30 100%	(夏) 7/27～8/10 14泊15日 (冬) 2/9～11 2泊3日	新潟・千葉・群馬県教 育委員会 (財)JR東海生涯学 習財団 新潟日報社
	妙高フレンドスクー ル「通学キャンプ」	少年自然の家を生活根拠 地として自校へ通学し、集 団生活を通して自立心と思 いやりの心を育むプログラ ムの開発	妙高村内3校の小学 校6年生 51/52 98.1%	11/24～12/1 7泊8日	妙高村教育委員会 村内の学校・PTA 連 絡協議会
立山	大地が動く立山カル デラ少年調査隊	地理・地学等の自然環 境や地域の学習施設を活 用し、先人の知恵を学ぶ プログラムの開発	小学校5年生～中学 校3年生 21/30 89.0%	8/23～25 2泊3日	国土交通省北陸地方 整備局 立山カルデ ラ砂防博物館
	豊かな森からの発 信！ こちら立山エコセン ター	森の環境を生物学的指標 を中心に診断し、その結果 に基づいた調査隊のアピ ールを他地域へ発信・交流 することを通し、環境啓蒙 の意識を培うプログラ ムの開発	新規プログラム開発 事業 5ヶ年計画 <初年度>		富山県内 の小中学校
若狭 湾	地域・人・自然から 学ぶ～若狭ふれあいの 旅	海型施設の特徴を生かし、 漁家宿泊体験、獺師の 定置網作業など、地域密着 型の体験プログラムの開 発	小学校5年生～中学 生 20/20 100%	7/29～8/7 9泊10日	田島漁家組合・田島 観光協会・三方町縄 文博物館等
山口 徳地	プロジェクトアド ベンチャー指導者講 習会	新規プログラムの一環 として、プロジェクトアド ベンチャーを導入	小・中学校教員、少年 教育指導者等 40/50 100%	6/8～10 2泊3日	プロジェクトアドベ ンチャー・ジャパン

	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会		小・中学校教員、少年教育指導者等 50/50 100%	9/7～9 2泊3日	プロジェクトアドベンチャージャパン
	国際ビーチクリーンアップin室戸	海岸漂着物の調査・分類を通した環境学習プログラムの開発	小中学生とその家族 45/40 100%	9/23～24 1泊2日	クリーンアップ全国事務局
室戸	「海」を活用した総合的な学習 「日本版ウォーターワイズ」	水辺活動を単に体験するだけでなく、活動を通して海に親しみ、海の恩恵や環境問題を考え、海での基本的な安全知識を身に付けるなど「総合的な海の自然体験プログラム」を開発	高知県下の小学校1 39名 100%	10/9～12 3泊4日	日本マリンスポーツ普及教育振興協会、全日本潜水連盟、日本海洋学会、クリーンアップ全国事務局
	ふれあい通学合宿	自然の家から通学することにより、他校児童等と生活・活動を通して交流を図るプログラムの開発	地元小学校の4～6年生 38/30 91.0%	11/11～18 7泊8日	室戸市教育委員会、室戸市各小中学校学校
夜須高原	夜須高原「遊・学キャンプ」	「遊び」と「学習」を融合した長期自然体験活動プログラムの開発	小学5年～中学3年生 50/48 90.0%	8/3～10 7泊8日	福岡・佐賀・熊本・大分各教育委員会
	夜須高原 “いきいき”キャンプ	野外活動の機会が少ない障害のある子ども達の活動を促進するプログラムの開発	様々な障害や悩み等のある児童・生徒及びその家族 19/40 28/40 35/40 100%	6/9～10 1泊2日 8/22～27 5泊6日 12/22～24 2泊3日	福岡県教育委員会、福岡県教育センター
大隅	大隅科学教室 高隈山地質探検隊	子どもの科学離れに対応した高隈山系を利用したプログラムの開発	小学校5年～中学校3年生 54/50 96.3%	5/12～13 1泊2日	

公立少年自然の家等への普及実績及び開発体制の整備

開発したプログラムは、「調査研究報告書」や「主催事業実施報告書」等として取りまとめを行い、刊行した報告書は公立少年自然の家や教育関係機関に配付し、普及に努めている。

また、利用団体の活動プログラムを充実させるために開発したプログラムは、活動資料として整理を図り、事前打合せや事前研修会等で提示し、その普及に努めている。

	事業名	開発した内容	公立少年自然の家・利用団体への普及	開発体制の整備
日高	異学年異学校交流推進事業～プロジェクト兄弟姉妹～	異なる学年、異なる学校の児童生徒の交流を通じた「総合的な学習の時間」のプログラム開発	調査研究報告書『挑戦「生きる力」を育む～総合的な学習へのアプローチ～』の刊行	学校関係者等を含む「異学年異学校交流推進研究会」を設置

	森の少年保安官	少年自然の家に隣接する国有林を活用した林業体験プログラムの開発	同所が刊行した研究紀要「シシリムカ」第14号に掲載、刊行	地元森林管理署の協力・指導を得て開発
花 山	第23期 花山ボランティアスクール	ボランティア養成研修を通して、自然体験活動推進協議会（CONE）自然体験活動リーダー初級認定資格の取得が可能なプログラムの開発	同所研究紀要「しゃくなげ16-1」に掲載、刊行	民間教育団体の指導を得ながら、開発
那 須 甲 子	なすかし“森の学校”～自然体験を通した「総合的な学習の時間」の実践（小学校編）	小学校と少年自然の家の有機的連携による「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発	調査研究報告書『少年自然の家における「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発』を刊行	外部の学識経験者を含む「企画検討委員会」の開催、学校との連携協力のもと開発
	全国少年自然の家職員等専門研修	子どもの感性・創造性をはぐくむ試み～「気づき」ものの見方」を高めるプログラムの開発～	調査研究報告書「子どもの感性・創造性をはぐくむ試み」として刊行	外部の学識経験者を含む「企画検討委員会」の開催、外部専門家の指導を得て開発
	お父さん、お母さんのための「林業体験講座」	保護者を対象とした自然体験学習を促進するための「林業体験」プログラムの開発	「林業体験」に係る活動資料を作成し、利用団体等に提示	地域の農林事務所、森林組合の指導を得ながら開発
	お母さんのための「子ども発見講座」	母親が自然の中での活動を体験しながら、子育て、子どもとの関わり合いが学べる学習プログラムの開発	14年度の継続事業として実施。開発したプログラムは、今後、公立施設等に普及	所内の企画検討会議で検討、開発。実施に当たっては、外部の専門家を活用
信 州 高 遠	自然の中で環境スクール～「総合的な学習の時間」実践事業	環境教育を中心とした体験活動を通した「総合的な学習の時間」のモデル事業の開発	4事業を主催事業実施報告書『少年の「生きる力」を体得支援のために』に掲載し、刊行	環境学習プログラム開発委員会で検討開発し、学校との連携協力のもとに実施
	みんな友だち - 土と人 -	心身に障害のある子どもを持つ家族と健常児を持つ家族が協力しながら農作業を体験し、相互の理解を深めるプログラムの開発		信州大学農学部・教育学部（教育相談）地域指導者の協力を得て開発
	都会っ子あつまれ！ - 農作業（田植え、稲刈り）体験をしよう	農作業を通して作物を育て、収穫するまでの過程を理解し、農業に携わる人々の苦労・喜びを体験できるプログラムの開発		地域の農業ボランティアの指導協力を得て開発

	中山道・甲州街道徒歩旅行 - 仲間とつくる 6泊7日 - [再掲]	街道とその周辺での活動を通して、昔ながらの生活・文化体験を通して、歴史の重みと先人の知恵・自然の恩恵を学ぶプログラムの開発		学識経験者を含む「生活体験プログラム開発委員会」を設置
妙高	自然の中で「総合」～普及編～ ～研究開発編～ ～授業実践編～	少年自然の家の自然環境に関わる「総合的な学習の時間」のプログラム開発	開発した「総合的な学習の時間」のプログラムは、活動資料として利用学校に提示	学識経験者、学校関係者を含む「プログラム企画・評価委員会」を設置
	悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業 オープン・ザ・ドア「太平洋から日本海へ」	非行・問題傾向の中学生が社会性や自信の回復、自立心を育成するための冒険プログラムの開発	3事業を調査研究報告書『子どもたちの「生きる力」を育む-プログラム企画と評価の在り方-』に掲載、刊行	学識経験者を含む「オープン・ザ・ドア」太平洋から日本海へ」実行委員会を設置
	妙高キッズアドベンチャー	問題解決能力、協調性、主体的な態度など「生きる力」を育む長期キャンププログラムの開発		学識経験者、学校関係者等の「プログラム企画・評価専門部会」を設置
	妙高フレンドスクール「通学キャンプ」	少年自然の家を生活根拠地として自校へ通学し、集団生活を通して自立心と思いやりの心を育むプログラムの開発		学校・教育委員会関係者による「通学キャンプ実行委員会」を設置
立山	大地が動く立山カルデラ少年調査隊	地理・地学等の自然環境や地域の学習施設を活用し、先人の知恵を学ぶプログラムの開発	所報「立山」第17号に掲載し刊行	学識経験者、学校関係者等による「プログラム企画・評価委員会」を設置
	豊かな森からの発信！ こちら立山エコセンター	森の環境を生物学的指標を中心に診断し、その結果に基づいた調査隊のアピールを他地域へ発信・交流することを通して、環境啓蒙の意識を培うプログラムの開発		
若狭湾	地域・人・自然から学ぶ～若狭ふれあいの旅	海型施設の特徴を生かし、漁家宿泊体験、猟師の定置網作業など、地域密着型の体験プログラムの開発	主催事業実施報告書「地域・人・自然から学ぶ～若狭ふれあいの旅～」として刊行	地域の宿泊受入漁家や地域指導者の連携・指導を得て開発
吉備	とび出せ学校！ “いきいきスクール”	学校のねらい・テーマに沿った「総合的な学習の時間」のプログラム開発	学社融合事業実施報告書「とび出せ学校！いきいきスクール」として刊行	学識経験者、学校・教育委員会関係者による「学社融合推進協議会」を設置

山口徳地	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会 プロジェクトアドベンチャー指導者講習会	新規プログラムの一環として、プロジェクトアドベンチャーを導入	「国立山口徳地少年自然の家プロジェクトアドベンチャーマニュアル」として刊行	プロジェクトアドベンチャージャパンの協力・指導を得て開発
室戸	国際ビーチクリーンアップin室戸	海岸漂着物の調査・分類を通じた環境学習プログラムの開発	同所が年2回発行している広報紙「くろしお」や所報で活動を紹介するとともに、公立施設、利用団体に周知 また、活動資料として整理し、利用団体に提示	クリーンアップ全国事務局の指導・協力を得て開発
	「海」を活用した総合的な学習 「日本版ウォーターワイズ」	水辺活動を単に体験するだけでなく、活動を通して海に親しみ、海の恩恵や環境問題を考え、海での基本的な安全知識を身に付けるなど「総合的な海の自然体験プログラム」を開発		日本マリンスポーツ普及教育振興協会、全日本潜水連盟 クリーンアップ全国事務局等の指導協力を得て開発
	ふれあい通学合宿	自然の家から通学することにより、他校児童等と生活・活動を通して交流を図るプログラムの開発		室戸市内学校長、室戸市内教育委員会関係者による「通学合宿」協議会の設置
夜須高原	夜須高原「遊・学キャンプ」	「遊び」と「学習」を融合した長期自然体験活動プログラムの開発	主催事業実施報告書「夜須高原”遊・学キャンプ”」として刊行	所内の企画会議で検討し、開発
	夜須高原 “いきいき”キャンプ	野外活動の機会が少ない障害のある子ども達の活動を促進するプログラムの開発	主催事業実施報告書「夜須高原”いきいき”キャンプ」として刊行	学識経験者、教育委員会関係者等による「いきいきキャンプ実行委員会」を設置
大隅	大隅科学教室 高隈山地質探検隊	子どもの科学離れに対応した高隈山系を利用したプログラムの開発	主催事業実施報告書「豊かな自然体験・生活体験で感性と活力を育てる」を刊行	鹿児島県内の公立小・中・高校の理科教員の指導協力を得て開発

〔別添資料 9〕

(4) 事業成果及び調査研究の取りまとめ状況と関係機関への普及状況

調査研究事業の実績

	調査研究の内容 【主催事業等名】	趣 旨	対象・参加者数・ 満足度	実施期間	共催・連携 協力機関等
日高	異学年・異学校交流を通して「生きる力」を育む総合的な学習の時間のプログラムの開発 (文部科学省委嘱、生涯学習施策に関する調査研究) 【異学年異学校交流推進事業～プロジェクト兄弟姉妹】 「新規」	学年、学校の枠を越えた異年齢集団での生活・活動を通し、児童生徒が自主的に判断行動し、問題解決の資質や能力、他と協調し思いやる心など「生きる力」を育む「総合的な学習の時間のプログラム」の開発を通して、これらの交流活動を推進する。	鶴川町立鶴川中学校2年・苫小牧市立明野小学校5年、当麻町立当麻中学校2年・白老町立緑丘小学校5年 310名 88.3%	8/27～28 8/30～31 (1泊2日)	北海道教育大学旭川校
那須甲子	少年自然の家における「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発 (小学校編) 【なすかし“森の学校”自然体験を通した「総合的な学習の時間」の実践】 「新規」	少年自然の家と地域の小学校が有機的連携を図り、学校の教育課程に自然の家での活動を位置づけ、自然の家を教室に自然体験や生活体験・社会体験等を行うことによって「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発を行う。	福島県白河市五箇小学校3・4・5・6年 77名 96.0%	10/19～23 4泊5日	福島県白河市教育委員会・同西郷村・同白河山岳会・ライトブレインリサーチなど
	子どもの「気づき」「ものの見方」を高め、感性や創造性を育むプログラムの開発 【全国少年自然の家職員等専門研修】 「継続」	自然体験活動の教育的評価にアプローチするため、新しい手法による感性・創造性を引き出すワークショップ等の実践を通じ、プログラムの開発と調査研究を行い、公立施設にその成果の波及を図る。	全国少年自然の家等の指導系職員・教員など 23名 83.3%	11/6～9 3泊4日	ライトブレインリサーチ

	国立那須甲子少年自然の家における傷病の発生状況と安全指導に関する調査 「新規」	自然の家で発生した傷病状況等の実態調査をもとに、その原因等を分析・考察することにより、引率指導者の安全対策・安全指導に役立てる。	—	—	白河市田口病院
妙高	子どもたちの「生きる力」を育むプログラム企画と評価の在り方に関する研究 【妙高キッズ・アドベンチャー】【オープン・ザ・ドア「太平洋から日本海へ」】【妙高フレンドスクール】 「新規」	自然体験活動の評価手法を構築し、これらの手法をもとに教育効果を分析し、公立少年自然の家等への広報を通してプログラム等の普及を図る。	キッズ・アドベンチャー 小学5年～中学3年 30名 100% オープン・ザ・ドア 非行・不登校の中学生 8名 —% フレンドスクール 村内3小学校6年 51名 96.1%	7/27～8/10 9/1～25 11/24～12/1	アウトドア・エデュケーションセンター 妙高村教育委員会、PTA連絡協議会
吉備	長期自然体験活動における教育効果に関する調査研究と新規プログラムの開発 【サマーチャレンジ in きび めざせ!! 山の達人！海の達人！ 「継続」	長期自然体験活動を通して教育効果に関する調査研究と公立少年自然の家への波及効果を意図した山や海における新規活動プログラムの開発を行う。	小学校5年～中学校3年 25名 92.0%	8/1～11	鳥取県立船上山少年自然の家・鳥取県山岳協会
山口徳地	長期キャンプにおける子どもの変容とボランティアスタッフの関わり方についての調査研究 【野性の夏2001】 「新規」	長期キャンプでの「集団宿泊生活」や「自然体験活動」を通しての子どもの変容とボランティアスタッフのかかわりなどについての調査・考察を通して、事業成果を検証し、公立施設に波及する。	小学校4年～中学校3年 32名 100%	8/18～26 9泊10日	
室戸	「海洋深層水の科学」に関する解説書の刊行	海洋深層水の先進地として、高知県におけるこれらの多用途への利用に関する解説書の作成を通して、児童生徒の海に対する興味関心を高め、学習活動を充実させる。	—	—	高知大学農学部、高知県海洋深層水研究所、高知医科大学

事業成果、調査研究の取りまとめ実績

事業成果は、次表のとおり「主催事業実施報告書」「調査研究報告書」として取りまとめ、刊行した。

事業成果の普及実績

刊行した報告書は、公立少年自然の家をはじめとする青少年教育施設に配付し、事業成果の発信・普及に努めた。また、公立施設の職員や学校教員を対象とした研修、地域での教育機関が実施する会議や研修会等で発表や配付を行い、その普及に努めた。

【主催事業実施報告書関係】

	事業報告書	発行年月	刊行部数	配付先、普及実績
日高	日本列島ともだちの輪 発行：日高 編集：日高・花山・ 那須甲子・室戸・諫早・大隅	14年3月	1,300	国公立青少年教育施設、関係教育機関、関係教育委員会等
花山	国立花山少年自然の家研究紀要 「しゃくなげ16-2」	14年3月	700	国公立青少年教育施設、県内教育機関、小・中学校、マスコミ関係、主催事業参加者
那須	ESSAYS IN FOSTERING CHILDREN'S SENSITIVITY AND CREATIVITY (平成12年度「子どもの感性・創造性をはぐくむ試み」の英語版)	14年3月	500	海外の青少年施設・教育機関等
甲子	子どもたちの体験活動の充実を目指して～国立那須甲子少年自然の家における「学校週5日制対応事業」の取り組み～	14年3月	600	国公立青少年教育施設、各都道府県教育委員会、学識経験者
	「那須甲子連峰子どもアドベンチャー」～長期冒険キャンプ～	14年3月	600	同上
信州	平成13年度主催事業報告書 少年の「生きる力」体得支援のために	14年3月	200	国立青少年教育施設、各県教育委員会、県内各図書館、主催事業講師等
高遠	第30回全国少年自然の家運営研究会報告書	14年2月	500	全国少年自然の家連絡協議会加盟施設等
妙高	平成13年度主催事業「妙高キッズ・アドベンチャー～未知の旅～記録集」	13年12月	300	国公立青少年教育施設等、近隣県市町村教育委員会等、報道機関、妙高村内各小中学校等、学識経験者等

立山	以下の主催事業を個々に「不動平の明日～[事業名]～評価と考察」として刊行			
	「みんなおいでよ！立少フェステバル」	13年6月		
	「野外ボランティア養成セミナー」	13年6月		
	「ふれあいファミリー登山」	13年8月		
	「木々と友だちネイチャーファミリー」	13年8月	各 6 6	県内青少年教育施設等
	「チャレンジ・ザ・立山」	13年9月		
	「真夏の山と海は友だち少年の輪」	13年10月		
	「大地が動く立山カルデラ少年調査隊」	13年11月		
	「わが町ものしり学習館」	13年11月		
	「集団登山指導者研修会」	13年11月		
	「森の恵みを味わうファミリーキャンプ」	13年12月		
	「宇宙の神秘をさぐる立山少年探偵団」			
	「えぼし岩冬のつどい」			
	「ボランティアフォローアップセミナー」	14年3月	各 7 7	県内青少年教育施設、各プログラム企画・評価委員会
	「冬季自然体験指導者研修会」			
	「真冬のチャレンジ・キャンプ」			
若狭湾	地域・人・自然から学ぶ～若狭ふれあいの旅～ 実施報告書	14年2月	2 0 0	国立青少年教育施設、教育委員会、近隣図書館、報道機関等
	大自然はみんなの友達 実施報告書	14年3月	2 2 0	国立青少年教育施設、教育委員会、近隣適応指導教室等
曾爾	平成 1 3 年度主催事業 「夢冒険真夏にチャレンジ」「みんなでリフレッシュ！」実施報告書	14年6月 予定	4 0 0	国公立青少年教育施設、関係府県・市町村教育委員会
吉備	平成 1 3 年度学社融合事業 「とび出せ学校！いきいきスクール」	14年3月	1 , 9 0 0	近隣県・市町村教育委員会、岡山・広島・鳥取県内各小学校、中・四国地区青少年教育施設等
山口徳地	国立山口徳地少年自然の家プロジェクトアドベンチャーマニュアル	14年3月	1 , 0 0 0	国公立青少年教育施設、岐阜県内2中学校、報道機関等
	中・四国環境ミーティング 2 0 0 1	1 4 年1月	1 , 0 0 0	国公立青少年教育施設、利用団体等
室戸	「わんぱく子ども宿」長期キャンプの有意性	14年5月	5 0 0	高知県内教育委員会、高知県内小中学校等

夜須高原	「夜須高原」遊・学キャンプ」 実施報告書	14年3月	500	国公立青少年教育施設、教育機関等
	野外教育指導者セミナー 実施報告書	14年3月	500	同上
	夜須高原「いきいき」キャンプ 実施報告書	14年3月	500	同上
諫早	ワキ・アイアイ教室	14年6月	300	青少年教育施設、市町村教育委員会、適応指導教室等
大隅	平成13年度主催事業実施報告書 『豊かな自然体験・生活体験で感性和活力を育てる』	14年5月	200	国公立青少年教育施設、教育機関等
	平成13年度主催事業実施報告書 『全国少年団体指導者研修』	14年6月	200	国公立青少年教育施設、教育機関等

調査研究の公表実績

刊行した「調査研究報告書」は、次表のとおり公立少年自然の家をはじめ、教育機関、マスコミ等に配付し公表した。また、ホームページを利用して公表している。

【調査研究報告書関係】

	刊行物等名	発行年月	刊行部数	配付先、公表実績
日高	「シシリム力」第14号 挑戦「生きる力」を育む ～総合的な学習へのアプローチ～	14年3月 14年2月	273 3500	国立青少年教育施設 道内青少年教育施設等
花山	国立花山少年自然の家研究紀要「しゃくなげ16-1」 (花山少年自然の家周辺をテーマとした研究・報告書)	14年3月	700	国公立施設等機関、県内教育機関、小・中学校、マスコミ関係者等
那須甲子	少年自然の家における「総合的な学習の時間」の授業展開とモデル事業の開発～福島県白河市立五箇小学校との「なすかし“森の学校”」の実践～ 子どもの感性・創造性をはぐくむ試み～「気づき」「ものの見方」を高めるプログラムの開発～3年間の取り組み 「国立那須甲子少年自然の家における傷病の発生状況と安全指導に関する調査」	14年3月 14年3月 14年3月	1,000 1,000 600	国公立青少年教育施設、各都道府県教育委員会、学識経験者等

信 州 高 遠	環境学習プログラム事例集	13年12月	1,000	利用学校、国公立青少年教育施設、各都道府県教育委員会等
妙 高	『子どもたちの「生きる力」を育む』 - プログラム企画と評価の在り方 -	14年3月	500	国公立青少年教育施設等、近隣県市町村教育委員会等、報道機関、妙高村内各小中学校等、学識経験者等
立 山	所報「立山」第17号	14年6月	1,300	国公立青少年教育施設、富山県内青少年教育施設等
曾 爾	シリーズ 曾爾のこともの 35号～40号	14年5月	1,000	独立行政法人各施設・施設運営委員・関係府県、市町村教育委員会等
吉 備	「長期自然体験活動の企画と展開」 (平成13年度主催事業サマ - チャレンジinきび)	14年3月	1,400	近隣市町村教育委員会、県内小中学校、中国四国青少年教育施設、青少年団体等
	プログラム開発研究会のまとめ「青少年教育施設利用についてのアンケート」	14年3月	730	各国立少年自然の家、県内青少年教育施設、県内小・中学校、県内教育事務所、県内市町村教育委員会
山 口 徳 地	平成13年度全国少年自然の家連絡協議会指定研究「野性の夏2001」 ～長期キャンプにおける子どもの変容とボランティアスタッフの関わり方について～	14年3月	700	国公立少年自然の家、利用団体等
室 戸	海洋深層水の科学 ～海洋深層水はどのように利用できるか～	13年6月	5000	国立青少年教育施設、四国内の小・中・高校、大学全国の県立図書館等

〔別添資料 １０〕

２ 少年の団体宿泊訓練のための利用に供するとともに、少年の団体宿泊訓練についての指導及び助言に関する事項

受入れ事業の実施状況

（１）年間の稼働数

目標１３０万人程度

ア 月別利用団体数，稼働数（人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
団 体 数	789	1,429	1,173	1,647	2,261	1,246
稼働数（人）	120,874	173,915	165,821	165,724	196,004	121,754
１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
1,376	880	592	773	887	1,178	14,231
111,722	63,615	31,721	51,628	69,317	74,867	1,346,962

イ 施設別利用団体数，稼働数

	日高	花山	那須甲子	信州高遠	妙高	立山
団 体 数	1,042	1,091	1,625	1,088	943	897
稼働数（人）	90,609	89,859	169,432	102,605	100,094	79,374
若狭湾	曽爾	吉備	山口徳地	室戸	夜須高原	諫早
547	1,272	781	1,083	834	902	645
76,696	112,683	95,058	77,942	55,366	119,312	96,261
大隅	計					
1,481	14,231					
81,671	1,346,962					

（２）新規利用団体受入れに対する取組状況

新規利用団体の利用実績

新規利用団体の受入状況は、次表のとおりである。平成 13 年度に新規に利用した団体は、全利用団体の 36.1%である。

		団体数	%	実利用者数（人）
学 校	小学校	367	7.1	14,390
	中学校	290	5.6	20,605
	盲・聾・養護学校	27	0.5	687
青少年団体・グループ		970	18.9	26,849
青少年教育施設・社会教育関係団体		840	16.4	28,798
家族		1,133	22.1	6,470
未就学児		39	0.8	1,817

その他学校（高校・大学・各種学校等）	268	5.2	13,816
官公庁・企業	300	5.8	8,697
その他	905	17.6	14,937
合 計	5,139	100	137,066

新規利用団体：過去に当該施設として登録歴のない団体

新規利用団体確保のための広報実績など----- 別添資料 15 参照

〔別添資料 11〕

2 受入れ事業の実施状況

(3) 指導・助言に対する満足度

事前打合せ（利用相談）での指導・助言の実施状況

ア 利用に関する資料等の事前配付

利用予定者へ事前に「利用の手引き」、「活動プログラム集」、「リーフレット」等を送付し指導助言等を行った。

イ 事前打合せ・事前指導の充実

利用団体の活動のねらいや利用目的が十分達成できるよう、事前打合せ（利用相談）等を実施し指導・助言を行った。

また、児童・生徒等の安全な活動を確保するため、登山、スキー等では引率指導者に活動コースや活動エリアの事前（実地）踏査を指導している。

利用期間中の指導・助言の実施状況

ア 利用期間中の指導等

野外で活動を行う団体に対しては、日頃より気象情報等を提供する等利用者の安全対策、安全指導に万全を期した。

また、野外活動の安全確保の指導の一手段として、無線機等を貸与し、雷注意報等の情報提供を行った。

イ 利用者ニーズへの対応等

利用者のニーズに応えるため、活動プログラムの改善、新規プログラムの開発や説明資料等の見直しを行った。

また、外部研修指導員の発掘と確保を行う等支援体制の充実を図った。

更に、利用期間中、代表者との会議等の場を設け利用団体が円滑な活動が行えるよう配慮した。

指導助言等に対する満足度

- ・ 事前の打合せや利用相談における指導・助言等

アンケート結果 91.8 %

- ・ 利用期間中の指導・助言等

職員への満足度

アンケート結果 90.7 %

(4) アンケート調査による利用者の満足度

生活面での満足度

アンケート結果 90.3 %

活動面での満足度

アンケート結果 91.2 %

職員への満足度 (再掲)

アンケート結果 90.7 %

利用目的の達成度

アンケート結果 98.8 %

「利用者の満足度」について

- アンケートによる調査 -

利用者の満足度や達成度の調査は、各利用団体の引率代表者に、利用最終日に記入してもらい、提出されたものを集計した。

(3) 指導助言等に対する満足度

【指導・助言に対する満足度】

『利用相談（事前打合せ）を実施された場合、今回の利用に生かされましたか』の問いに対して、「とても生かされた」「生かされた」「あまり生かされなかった」「全く生かされなかった」の中から、「とても生かされた」「生かされた」と回答した比率

91.8 %

【職員への満足度】

『少年自然の家職員の対応や指導はいかがでしたか』の問いに対して、「とても良い」「良い」「どちらともいえない」「あまり良くない」「悪い」の中から、「とても良い」「良い」と回答した比率

90.7 %

(4) 【利用者の満足度】について

少年自然の家を利用した利用団体の満足度については、「生活面での満足度」「活動面での満足度」「職員への満足度」「利用目的の達成度」から求めた。

「生活面での満足度」「活動面での満足度」として

『少年自然の家での生活はいかがでしたか』『少年自然の家での活動はいかがでしたか』のそれぞれの問いに対して、「とても良い」「良い」「どちらともいえない」「あまり良くない」「悪い」の中から、「とても良い」「良い」と回答した比率

生活面での満足度：90.3 % 活動面での満足度：91.2 %

「利用目的の達成度」

『利用目的は達成できましたか』の問いに対して、「達成された」「ほぼ達成された」「達成できなかった」のうち、「達成された」「ほぼ達成された」と回答した比率

98.8 %

「職員への満足度」

「(3) 指導助言等に対する満足度」に掲載

〔別添資料 12〕

受入れ事業の実施状況

(5) 利用者サービス向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況
研修実績

ア 利用者サービス向上のための職員に対する研修の実施状況

区 分	実施・参加した研修の数	参加者数(人)	備 考
接遇に関する研修	接遇研修 7 回	1 5 7	所 内
	接遇研修等 4 回	2 3	所 外
活動プログラム習得に関する研修	活動プログラムの指導法研修 1 9 回	5 6 6	所 内
救急救命等研修	救命技能の実地講習等 6 回	1 0 3	所 内
防災に関する研修	消火実地訓練等 7 回	1 7 0	所 内
安全管理等に関する研修	安全管理者研修等 5 回	5 2	所 外

国立少年自然の家給食業務 専門研修	給食業務充実のための実践研修	2 9	所 内
----------------------	----------------	-----	-----

イ 施設職員としての資質向上を図る研修の実施状況

区 分	実施・参加した研修の数	参加者数(人)	備 考
職員としての資質向上を図る 研修	職員研修等 8 回	1 8 5	所 内
	青少年教育施設職員研修等 1 0 1 回	2 2 0	所 外
新任職員に対する研修	新任職員研修等 1 4 回	7 0	所 内
野外教育に関する研修	野外活動指導者研修等 3 1 回	1 0 2	所 外
社会教育に関する研修	社会教育主事研修等 7 回	1 1	所 外
実務研修	会計研修等 2 5 回	6 5	所 外
国際性の涵養に関する研修	日独青少年教育施設指導者研修等 9 回	2 5	所 外
その他	簿記・セクハラ研修等 6 回	1 0 3	所 内
	セクシャルハラスメント講習 4 回	4	所 外

利用団体のアンケート結果

職員の対応や指導に対する満足度 90.7% : 目標70%以上

利用者の「職員に対する満足度」についての調査は、各利用団体の引率代表者に、利用最終日にアンケートに記入してもらい、提出されたものを集計した。

『少年自然の家職員の対応や指導はいかがでしたか』の問いに対して、「とても良い」「良い」「どちらともいえない」「あまり良くない」「悪い」の中から、「とても良い」「良い」と回答した比率

(6) 利用団体の活動支援のための人材等の確保及び資質等向上のための研修実施状況

人材確保への取組実績

- ア 施設職員が大学や高校等を直接訪問し、少年自然の家におけるボランティア活動に対する学生への周知と広報を行った。
- イ 新聞への記事掲載による募集を通して、社会人やボランティア活動に関心のある者の発掘と確保に努めた。
- ウ 高校生から社会人を対象としたボランティア養成事業を実施し、700名を超えるボランティア希望者の参加を得ることができた。
- エ 市町村広報誌や新聞等で新たな外部研修指導員の募集を行い、人材の確保を行った。

研修の実施実績

ア ボランティア養成研修

ボランティアを養成するための研修事業 15事業

ボランティアのフォローアップのための研修事業 8事業

研修事業の内容等については「別添資料14」参照

イ 外部研修指導員を対象とした研修

- 指導方法の習得のための実践的研修の実施
 - ・ プロジェクトアドベンチャー・スキルアップ研修会
 - ・ 天体観察指導者講習会
 - ・ クラフト指導研修会
 - ・ 事業等での施設職員による直接指導による研修

- 指導員の資質向上を図るための協議会等の開催
 - ・ 「指導員等協議会」の開催
 - ・ 所内研修会の実施
 - ・ リーダー研修、リーダートレーニング研修
- その他
 - ・ 指導者との打合せ会の実施
(シーズン前のスキー講師との打合せ)

利用団体のアンケート結果 など

少年自然の家の講師や指導者(ボランティアを含む)の対応や指導に対する満足度

92.2 % : 目標70%以上

利用者の「講師や指導者(ボランティアを含む)に対する満足度」についての調査は各利用団体の引率代表者に、利用最終日にアンケートに記入してもらい、提出されたものを集計した。

『少年自然の家の講師や指導者(ボランティアを含む)の対応や指導はいかがでしたか』の問いに対して「とても良い」「良い」「どちらともいえない」「あまり良くない」「悪い」の中から、「とても良い」「良い」と回答した比率

〔別添資料 13〕

3 少年の団体宿泊訓練に関し、少年教育指導者の研修に関する事項

少年教育指導者研修の実施状況

(1) 少年団体指導者、施設職員等を対象とした研修の実施状況

ア 少年団体指導者、施設職員等を対象にしたブロック規模・全国規模の研修事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員・ 満足度	実施期間	共催・連携団体
日高	利用団体担当者 事前研修会 ～プロジェクトアドベンチャー研修 ～ 〔継続〕	利用校や団体の担当者が、野外活動プログラムの組立方を学ぶとともに、利用団体相互の調整を行う。また、プロジェクトアドベンチャーの利用方法及び指導法について学ぶ。	利用団体担当者・青少年指導者 14/20 90.9%	5/14～16 2泊3日	
	青少年教育施設職員研修会 (再掲) 〔継続〕	道内教育施設の指導系職員が、青少年教育施設の現状や今日的課題について研究協議を深め、資質向上と相互の交流を図る。	青少年教育施設職員 36/30 91.4%	9/26～28 2泊3日	北海道青年の家等協議会
	利用団体担当者 後期事前研修会 〔継続〕	施設を利用する団体の企画担当者を対象として、効果的な活動プログラムの組み立て方や施設の利用について、プログラム相談を行う。	利用団体担当者・青少年指導者 29 96.7%	10/12 10/25 11/7 11/18 12/4 1/20	
花山	はなやま冒険教育 体験会(計3回) 〔新規〕	利用校の教員を中心にP A ロープスコースを用いた冒険教育の体験学習を行うことにより、コースの効果的な利用及び安全管理について理解を図る。	学校教員、P A に興味・関心のある青少年教育指導者 13/20 24/20 37/20 100%	4/26～28 6/27～29 9/3～5 各2泊3日	プロジェクトアドベンチャージャパン
	花山自然体験プロジェクト研修会 ～総合的な学習の充実に向けて～ 〔新規〕	少年自然の家における「総合的な学習」の充実を図るため、「自然体験と環境教育の充実」を中心にした自然の家の利用の在り方を、実践例に基づき研究協議する。	小・中学校教員 自然の家職員、利用団体指導者等 38/30 94.7%	8/6～8 2泊3日	
	国立等少年自然の家P A 研究協議会 (再掲) 〔新規〕	プロジェクトアドベンチャーのロープスコースを所有している国立等施設の職員が一堂に会し、指導者養成や確保コースの維持活用、今後の事業開発について協議する。	各施設の担当職員 15/15 100%	1/29～30 1泊2日	プロジェクトアドベンチャージャパン

那須 甲子	全国少年自然の家 職員等専門研修 (再掲) [継続]	自然の家の職員等が自然の 中で新しい手法により感性・創 造性を引き出すワークショップ 等の実践を通じ、自然体験活 動の教育的効果について研修 することにより、指導系職員と しての専門性を高める。	全国少年自然 の家等の指導 系職員・教育・ その他関心の ある者 23/30 83.3%	11/6～9 3泊4日	ライトブレイ ン リサーチ
信州 高遠	自然体験活動指導 者講習会 [継続]	自然体験活動に関する教育 的意義や在り方を理解し、これ に必要な基礎知識や技術を習 得する。	学校教育・社会 教育関係者、利 用団体指導者 等 35/30 81.0%	6/22～24 2泊3日	長野・山梨・埼玉 各県教育委員会 、高遠町教育委 員会
妙高	少年自然の家等職 員研修会 (再掲) [継続]	青少年の学校外活動の充実 のため、青少年教育施設の今日 的な課題について、広域的な視 点で協議し、少年自然の家等職 員の資質向上を図る。	国公立少年自 然の家等の職 員 24/30 94.4%	12/5～7 2泊3日	
立山	集団登山指導者研 修会 [継続]	立山連峰の大自然を感得す るとともに、集団登山の企画・ 運営に必要な基礎知識・技能や マナーを身につけ、指導者とし ての資質を高める。	集団登山に携 わる小・中・高 校教員、青少年 教育指導者、利 用団体指導者 等 32/30 86.0%	8/17～20 3泊4日	文部科学省登山 研修所 富山・石川・新潟 県教育委員会
	冬季自然体験指導 者研修会 [新規]	スキーや雪上活動等におい て、安全で確実な楽しい冬季野 外活動の指導法を学び、野外教 育の指導者としての資質を高 める。	小・中・高校等 教員、青少年団 体・利用団体指 導者等 17/30 88.0%	1/25～27 2泊3日	富山・石川・新潟 県教育委員会、 (財)とやま環 境財団
若狭 湾	自然体験指導者研 修講座 (指導者編) [継続]	指導者の養成と資質の向上 を図り、学校における野外活動 の効果的なプログラムの企画 ・立案を学ぶ。	小・中・高校教 員、少年団体・ 利用団体指導 者、青少年施設 職員等 22/50 96.0%	11/18～20 2泊3日	
	東日本国立青少年 教育施設職員研修 / 公立青少年教育 施設職員研修 (再掲) [継続]	施設職員が一堂に会し、施設 の事業運営、業務改善について 協議を行う。また、施設職員と しての専門的知識や技術等の 情報交換を行う中から、ネット ワークの構築を図り今後の事 業運営等に役立てる。	国立青少年教 育施設職員、近 畿地区等公立 施設職員 30/40 96.0%	11/20～22 2泊3日	共催：国立曽爾 少年自然の家
曽爾	青少年野外教育指 導者研修 [継続]	総合的な学習の時間を青少年 施設で実施するに当たり、新し い自然体験の意義、施設の有効 な利用方法等について研修を 行う。 会場：大阪府	各学校園教員、教 育委員会職員、社 会教育団体指導 者、利用団体指 導者等 68/40 94.4%	2/15	奈良県・三重県・ 大阪府各教育委 員会

吉備	「生きる力」を育む自然体験活動担当者セミナー ～総合学習の実施に向けて～ [継続]	総合的な学習の時間の導入を踏まえ、自然体験活動や環境教育等を効果的に進めるために、指導法や実施上の配慮・総合学習プログラムに基づいた利用の在り方について研究協議・実習を行い、自然体験活動担当者の資質の向上を図る。	行政担当者、小・中学校教員・少年団体指導者、利用団体指導者等 47/50 89.5%	2/16～17 1泊2日	鳥取県教育委員会/岡山県教育委員会/広島県教育委員会/岡山県小学校教育研究会理科部会/岡山県中学校教育研究会理科部会
山口 徳地	利用団体指導者研修会 [継続]	利用団体指導者を対象に、新規プログラムである「プロジェクトアドベンチャー」について理解を深めるとともに、効果的な活動プログラムの計画立案について研修を行う。	小・中学校等教員、少年教育指導者、利用団体指導者等 45 /50 98.0%	4/27～28 1泊2日	プロジェクトアドベンチャージャパン
	中・四国環境ミーティング [新規]	中・四国から広く環境保全、自然保護などに関心を持つ人たちが集まり環境教育に関わる内容や方法の充実を図る。	環境教育や環境保全等に関心のある者等 200/150 87.0%	6/22～24 2泊3日	中・四国環境教育ネットワーク
	中国・四国地区自然の家職員セミナー（再掲） [継続]	中国・四国地区少年自然の家の職員が当面する課題について研究協議し、指導者としての能力の向上を図るとともに施設間の連携・交流を図る。	中国・四国地区自然の家職員等 30/25 90.0%	12/5～7 2泊3日	共催：国立吉備・室戸少年自然の家
	とくちエコエコミーティング [新規]	ワークショップの手法を取り入れながら、環境教育に関心を持たせることにより、地域・家庭の環境への興味を一層深めるとともに、参加者相互の交流を図る。	親子、グループ、少年教育指導者等 30/30 100%	1/25～27 2泊3日	
	国立・県立青少年教育施設所長等協議会 [継続]	県内の国公立青少年教育施設の所長等が出席し、新しい時代に対応した青少年教育施設の在り方について協議する。	山口県内の国公立青少年教育施設の所長 10/15 —%	3/13～14 1泊2日	
室戸	自然の家リーダー研修 山編 海編 [継続]	施設の活動について理解を深め、指導技術の向上を図るとともに、新規指導員の確保と充実を図る。	高校生以上の当所指導員希望者 21/30 90.5% 32/30 90.6%	5/12～13 1泊2日 6/23～24 1泊2日	
夜須 高原	利用団体引率者研修 [新規]	自然体験活動等を効果的に実施するための企画力・指導力を身につけるための研修を行う。	利用団体引率者・担当者 65/100 100%	6/23～24 1泊2日	

	福岡ブロック 少年団体指導者研修会 [新規]	変化の激しい社会に対応できる「生きる力」をもった子どもの育成を図るため、子ども会活動の新しい方向性を学ぶとともに、さらなる活性化を図る。	市町村子ども会育成会連絡協議会役員、市町村各地区子ども会育成会役員等、市町村教育委員会青少年教育担当職員、市町村学校職員 90/90 —%	7/7～8 1泊2日	共催：福岡県子ども会育成連合会、福岡県教育委員会
	九州地区公立少年自然の家職員研修（再掲） [継続]	公立少年自然の家の職員に必要な専門的知識や技術の習得を図るとともに、研究協議を通して施設職員の資質を高める。	九州地区国立少年自然の家職員 50/50 90.0%	2/13～15 2泊3日	共催：国立大隅・諫早少年自然の家
諫早	「総合的な学習の時間」セミナー [新規]	自然の家を利用した「総合的な学習の時間」の取組方や活動について実践的な研修を行うとともに、学校との連携を深める。	教員、青少年教育関係者、利用団体指導者等 25/30 90.0%	6/20～21 1泊2日	長崎・佐賀・福岡・熊本各県教育委員会
大隅	スポーツクライミングスクール [継続]	クライミングウォールを活用してスポーツクライミングを楽しむ愛好者を増やすとともに、指導者としての基礎的・初歩的な知識や技能の習得を図る。	小中高校・一般、青少年団体指導者 66/60 93.2%	6/23～24 1泊2日	鹿児島県キャンプ協会
	野外活動実践講座 [新規]	野外活動の教育的意義や在り方を理解し、必要な知識や技術・効果的なプログラムの作成法を体験する。また、キャンプインストラクターの資格を取得し、自然体験指導者を目指す人材育成を図る。	小・中学校の教員、少年団体指導者、利用団体指導者等 17/20 100%	9/22～24 2泊3日	鹿児島・熊本・宮崎各県教育委員会 鹿児島県キャンプ協会
	全国少年団体指導者研修（再掲） [新規]	少年団体の指導者が一堂に会し、少年活動の現状や今日的課題について協議を深め、少年団体指導者としての資質の向上を図るとともに少年団体活動の活性化を図る。	少年団体指導者、少年団体行政担当者、教員、青少年施設職員 50/50 85.0%	12/1～2 1泊2日	（社）中央青少年団体連絡協議会、鹿児島・熊本・宮崎各県教育委員会
	バドミントン競技指導者講習会 [新規]	バドミントン指導者が基本的な練習方法や練習プログラムを習得することにより指導能力の向上を図るとともに、スポーツ振興の一助とする。	バドミントン競技指導者、一般 33/40 100%	2/9～10 1泊2日	
法人本部	国立少年自然の家給食業務専門研修 [新規]	少年自然の家における給食業務の充実を図るため、食堂職員を対象に専門的、実践的研修を行い食堂職員の資質向上を図る。	各少年自然の家の食堂店長・料理長 29/28 —%	12/5～8 3泊4日	共催：国立那須甲子少年自然の家 協力：西郷村立川谷小学校

イ 指導者の企画力や専門性を高めるブロック規模・全国規模の研修事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間	共催・連携団体
花山	PA(プロジェクトアドベンチャー)指導者講習会 [新規]	体験会修了者がPAの理論や技術を更に深め、ファシリテーターとしての実践・活動をする上で必要な技術・知識の習得を図り、教育活動に生かすための企画立案に資する。	体験会終了者 32/30 100%	9/21～24 3泊4日	プロジェクトアドベンチャー・ジャパン
妙高	野外教育企画担当者セミナー～プログラムデザイン研修～ [新規]	野外教育の企画等に携わる専門指導者を育成し、我が国における野外教育の質的向上を図る。	野外教育の企画等に携わる者 28/30 100%	12/13～16 3泊4日	
立山	野外教育企画担当者セミナー～アクティビティデザイン研修～ [新規]	野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成するための統一的な基準の下に研修事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、我が国における野外教育の質的向上を図る。	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で2年以上野外教育の指導の経験を有する者 35/30 100%	10/22～25 3泊4日	
曽爾	野外教育企画担当者セミナー～アクティビティデザイン研修～ [新規]	野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成するための統一的な基準の下に研修事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、我が国における野外教育の質的向上を図る。	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で2年以上野外教育の指導の経験を有する者 39/30 97.4%	11/6～9 3泊4日	奈良県教育委員会
吉備	野外活動指導者研修会 [新規]	野外活動の健全な発展を図るため、指導者の参加を求め、野外活動の意義及びその普及振興等について研究協議するとともに、実践活動を通して指導者の資質向上に資する。	野外活動団体の指導者 行政の野外活動担当者等 55/100 93.0%	6/25～28 3泊4日	文部科学省 岡山県教育委員会/日本野外活動団体協議会/賀陽町教育委員会
	野外教育企画担当者セミナー～マネジメント研修～ [新規]	野外教育に関わる民間教育事業者との連携のもと、野外教育への企画等に携わる専門指導者を養成する事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、我が国における野外教育の質的向上を図る。	野外活動団体の指導者行政の野外活動担当者等 40/30 96.6%	1/22～25 3泊4日	
諫早	野外教育企画担当者セミナー～プログラムデザイン研修～ [継続]	野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成するための研修事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、我が国における野外教育の質的向上を図る。	アクティビティデザイン研修を修了・修了見込みの方 19/30 92.0%	1/11～14 3泊4日	

ウ 教職員を対象としたプロジェクトアドベンチャー等の実践的な研修方法等の工夫

実 施 事 業 等	研修事業の特色・工夫した内容	参加者/定員・満足度	共催・連携団体
はなやま冒険教育体験会 「再掲」 4/26～28 6/27～29 9/3～5 [新規]	参加者のニーズを事前に調査し、「生きる力」を育む体験学習法の一つとして効果が認められているPAを理論だけでなく、体験を通して理解させ、教育活動への応用を図った。体験会修了者を対象に指導者講習会を行い、資質を高めた。	13/20 24/20 37/20 100%	プロジェクトアドベンチャー・ジャパン
プロジェクトアドベンチャー（PA）指導者講習会 （再掲） 9/21～24 [新規]		32/30 94.4%	
はなやまフリースクール～土曜講座～ 10/13（第1回）プロジェクトアドベンチャー（PA） 11/10（第2回）プロジェクトワイルド（PW） 1/26（第3回）生態学 [新規]	PAの各種指導者養成研修のフォローアップを図るため、ワークショップ、講義を補講として実施した。	21/20 47/20 15/20 95.2% 97.9% 100%	プロジェクトアドベンチャー・ジャパン 奥多摩湖畔自然公園山のふるさと村ビジターセンター 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
環境教育担当教員講習会 （東日本地区）10/23～26 [新規] （花山少年自然の家）	小・中・高校における環境教育に関する指導内容・指導方法に関する研修を行い、指導力の向上と環境教育の充実を図った。	76/75 96.1%	独立行政法人教員研修センター委託事業
教員のための「体験学習指導講習会」～総合的な学習の時間へのアプローチ 6/6～8 [継続]	自然の家の活動プログラムと「総合的な学習の時間」との関連や展開に当たっての可能性等について実践を通して研修した。	23/30 86.4%	福島・栃木・茨城の各県教育委員会
児童生徒の体験学習の充実を図るための研究協議会 2/22～3 [継続] （那須甲子少年自然の家）	新たな自然の家における利用展開を図るため、自然の家を利用したことのない学校の教員を対象に自然体験活動の実習や研究協議を行った。	31/30 96.3%	江戸川区立小松川第2小学校、福島県白河市立五箇小学校
自然の中で「総合」～総合的な学習の時間（普及編） 6/15～17（普及編） 通 年（研究開発編） 通 年（授業実践編） [継続]	自然の家の自然環境を活用した「総合的な学習の時間」の活動プログラムの普及を図るための講義やシンポジウムを開催するとともに、通年を通して活動プログラムの改善と充実を図った。	普及編 110/50 84.2%	
教職員等プロジェクトアドベンチャー講習会 6/8～10 [新規]	プロジェクトアドベンチャーの学校教育への活用を推進するために、講義・実技を通して指導者の養成を行った。	38/40 88.6%	
プロジェクトアドベンチャーステップアップ講習会 8/24～26 [新規] （妙高少年自然の家）	プロジェクトアドベンチャー指導者の拡大を図るため、「指導技術向上コース」「指導者認定コース」「体験コース」を設定し、レベルに応じた指導力・技術力の向上を図った。	46/30 97.4%	新潟・千葉・群馬県教育委員会、プロジェクトアドベンチャー・ジャパン

『総合的な学習の時間』研修講座 9/28～29 [継続] (若狭湾少年自然の家)	少年自然の家を利用した総合的な学習の 実践やプログラムを提案し、学社連携を 深め、相互理解を進めた。	50/40 43/40 95%	
プロジェクトアドベンチャー 指導者講習会 6/8～10 [継続]	指導者講習会 ・ を通した参加者には、 少年自然の家の「プロジェクトアドベン チャー指導者認定証」を交付し、エレメ ントコースの使用を可能にした。	40/50 100%	
プロジェクトアドベンチャー 指導者講習会 9/7～9 [継続]		50/50 100%	
「総合的な学習の時間」実践交 流会 8/28～29 [継続]	「総合的な学習の時間」に先導的に取り 組んでいる学校の実践発表や「人と木の かわり」をテーマに少年自然の家での活動 事例として間伐体験を実施した。	49/40 90%	
環境教育担当教員講習会 (西日本地区) 11/6～9 [継続] (山口徳地少年自然の家)	小・中・高校における環境教育に関する 指導内容・指導方法に関する研修を行い、 指導力の向上と環境教育の充実を図った。	74/79 99%	独立行政法人教 員研修センター 委託事業
野外教育指導者セミナー 11/10～11 [継続] (夜須高原少年自然の家)	夜須を拠点として活動を展開した実践 報告をもとに研究協議を行い、周辺の植物 や水生生物に親しむプログラムの企画演 習を行った。	54/50 100%	福岡教育大学理 科研究室
「総合的な学習の時間セミナー」 6/20～21 [新規]	自然の家を利用した「総合的な学習の時 間」の推進に当たり、特に環境教育に焦点 を当て、先進事例の紹介や実践的研修を行 った。	25/30 92%	長崎・佐賀・福 岡・熊本各教育 委員会
野外活動指導者研修 7/31～8/3 [新規]	子どもたちの自然体験活動を促進する ため、野外活動の知識・技術を習得 させ指導者としての資質の向上を図った。	118 - %	長崎県教育セン ター
アドベンチャー教育体験セミ ナー 2/9～10 [新規] (諫早少年自然の家)	新しい教育プログラムとしてのプロジ ェクトアドベンチャーの体験を通して、参 加者が教育の多様な場面で活用できるこ とが理解できるようなプログラム編成を 行った。	21/30 100%	プロジェクトア ドベンチャー・ジ ャパン
教職等をめざす学生と児童生 徒のふれあい 8/16～21 [継続] (大隅少年自然の家)	将来、教員や指導者をめざす学生が、少 年自然の家の子ども達と生活・活動を共に することにより、子どもの理解や教職等 に対する自分の適性を見つめ考える機会と した。	15/30 89.2%	鹿児島大学教育 学部

〔別添資料 14〕

少年教育指導者研修の実施状況

(2) ボランティア養成研修の実施状況

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間	共催・連携団体
日高	青少年教育施設ボランティアリーダーセミナー [継続]	実習や実技を中心とした実践的な学習方法により、青少年教育施設で活躍するボランティアリーダーを養成する。	高校生、大学生、社会人等 39/30 95.6%	5/25～27 6/22～24 9/22～24 各2泊3日 1/26～27 1泊2日	
	マイプラン・マイボランティア [継続]	日高町の産業学習生を対象としたボランティア講座を実施し、地域で実践する青少年ボランティアを育成する。	地元産業実習生 43/40 87.5%	12/17～18 1泊2日	
花山	第23期 花山ボランティア・スクール [継続]	ボランティア活動に必要な実践的研修を行い、自然体験活動指導者としての技術を高めるとともに、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。また、ボランティアの資質向上、育成を図るため自然体験活動推進協議会の自然体験活動リーダー初級認定資格の取得を目指す。	大学生、一般人 50/30 93.9%	8/23～26 3泊4日	東北学院大学 東北福祉大学
	～ボランティア自主企画・運営～ 親子でエンジョイ 花山タイム [新規]	ボランティアが自主企画・運営する場を設け、ボランティアが活動支援者として活動する。自然の中で親子が協力し合い、自然体験や創作活動を楽しむことにより、親子・他家族との交流を図る。	小・中学生とその家族 55/50 34/50 100%	1/12～13 3/9～10 各1泊2日	
	東北地区青少年教育施設ボランティア研修会（再掲） [新規]	青少年教育施設におけるボランティアの指導力を向上させ、今後のボランティア活動の在り方及びボランティア活動の理論や技術を学ぶ。	東北地区青少年教育施設ボランティア 20/20 95.0%	2/23～24 1泊2日	
那須甲子	なすかしの森 ボランティアセミナー [継続]	自然の家におけるボランティア活動に必要な知識や技術を習得し、青少年教育としてのボランティア活動の振興を図る。	大学生、高校生、成人一般等 69/40 88.4%	5/3～5 2泊3日	白河地方広域市町村消防本部

	ボランティアトレーニングセミナー [継続]	ボランティア活動に必要な知識・技術の習得を行い、ボランティア活動のフォローアップを図る。	自然の家ボランティア登録者 計39名 - %	7/7～8 1泊2日 7/13～15 2泊3日 7/21～22 1泊2日 2/8～9 1泊2日	
	ボランティア連絡協議会 [新規]	自然の家等におけるボランティア活動に必要な知識や技能について研修を行うとともに、ボランティア活動についての意見を交換し、資質の向上を図る。	自然の家ボランティア登録者 13名 - %	12/15～16 1泊2日	
妙高	妙高少年自然の家ボランティア養成講習会 [継続]	ボランティアの指導力や資質の向上を図るとともに、ボランティアが主体的に活動が出来るようにボランティア組織の充実とコーディネートシステムの整備を図る。	学生・一般 55/40 - %	5/25～27 2泊3日	妙高少年自然の家ボランティア協議会、新潟県教育委員会、信州大学、上越教育大学
	長期キャンプボランティア養成講習会 [新規]	児童・生徒の長期キャンプにおけるボランティアとしての資質の向上を図る。	学生、青年 21/20 95.2%	6/22～24 2泊3日	新潟・千葉・群馬県教育委員会 上越教育大学
立山	野外活動ボランティア養成セミナー [継続]	講義や自然の家及び周辺での野外活動体験を通してボランティア活動に必要な知識・技能を習得する。	18歳以上の学生 29/20 83.0%	5/3～5 2泊3日	(財)とやま環境財団、富山・石川・新潟・長野県教育委員会
	4施設ボランティアネットワーク事業集い語ろう ボランティアフォローアップセミナー (再掲) [新規]	近隣4施設で活躍する施設ボランティアが集まり、青少年の野外活動を援助・指導するための方法や理論について実習や協議を通して学ぶ。	立山・若狭湾自然の家・能登・乗鞍青年の家のボランティア登録者 22/30 86.0%	12/21～23 2泊3日	乗鞍・能登各青年の家 若狭湾少年自然の家
若狭湾	自然体験指導者研修講座シリーズ (ボランティアリーダー編) [継続]	青少年教育施設等におけるボランティアの役割を理解し、野外活動の基礎的知識や技能及び新しい手法を学ぶ。 学校週5日制対応事業にボランティアとして係わるための知識・技能を身につける。	高校生、専修学校生、各種学校生等、大学生、社会人 28/30 67.0%	5/26～27 1泊2日	
曽爾	青少年指導者ボランティアセミナー [新規]	野外教育においてボランティアが果たす基本的な役割や意義、技能・態度などについて学ぶ。	高校生相当の年齢以上 67/100 40/40 89.5%	5/3～5 2泊3日	奈良県・三重県・大阪府各教育委員会

吉備	少年自然の家施設ボランティア研修 ～発見！体験！ 新たな世界～ (年2回)[継続]	自然の家におけるボランティアとしての知識・技術及び態度について研修し、ボランティア活動への理解を深めるとともに、ボランティア活動を実践する意欲を育てる。	大学生及び社会人 39/50 47/50 99.2%	5/25～27 11/30～ 12/2 各2泊3日	
山口 徳地	ボランティアセミナー [継続]	青少年教育施設におけるボランティア活動に必要な知識・技術を習得し、プロジェクトアドベンチャーを中心に引き上げてボランティアの資質の向上及び育成を図る。	高校生、大学生及び一般成人 60/60 99.0%	5/19～20 1泊2日	
	インタープリター＆ボランティア講習会 [継続]	子どもと自然のコミュニケーションを高めるために必要な専門的能力を備えた指導者を養成し、野外教育指導者の養成と資質の向上を図る。	高校生以上 26/30 100%	10/13～14 1泊2日	
	ボランティアのつどい (ボランティア企画事業) [継続]	ボランティア同士のふれあいを通じてボランティア活動に対するネットワークの拡大と人的交流を図る機会とする。	自然の家等でのボランティア活動に関心がある人 65/50 - %	3/14～17 3泊4日	
室戸	ボランティア研修 [継続]	ボランティア活動における理解や技能を深め、地域で活動するボランティアを育成する。	高校生以上 31/30 86.2%	2/10～11 1泊2日	
夜須 高原	少年自然の家ボランティア研修 [継続]	施設を拠点とし、野外活動等の指導ができるボランティアの確保・育成をする。	高校生、大学生及び一般(2回とも参加できる人) 23/60 23/60 89.5%	5/12～13 5/26～27 各1泊2日	福岡・佐賀・熊本・大分各教育委員会
	ボランティア・ステップアップ研修 [継続]	施設及び周辺の活動地域の理解と夜須高原トム・ソーヤー塾の活動を援助することにより、円滑な運営ができるようにするとともに、ボランティアの資質向上を図る。	高校生、大学生及び一般の登録ボランティア 42名 20/42 - %	1/19～20 1泊2日	
諫早	施設ボランティア研修 [継続]	青少年教育施設の役割を理解するとともに、施設ボランティアとして活動をするための知識や技術を習得する。	高校生以上 69/50 98.0%	5/26～27 1泊2日	
	施設ボランティア研修 フォローアップ研修 [継続]		高校生以上 21/30 100%	8/25～26 1泊2日	

4 附帯業務の実施状況

(2) 広報活動の充実に係る取組状況

ア 広報活動への取組実績

主 催 事 業	受 入 れ 事 業
・報道関係機関等へ事業開催の案内と事業取材や実施後の記事の掲載依頼 (全施設) ・新聞の折り込みチラシでの広報活動 (日高、曽爾) ・ミニコミ誌等地元雑誌への掲載 (妙高、曽爾、吉備、室戸、夜須高原、諫早) ・学校週5日制対応事業のパンフレット、ポスター等の配布 (日高、花山、那須甲子、妙高、曽爾、大隅) ・オリジナルカレンダーの作成・配布 (日高、山口徳地、大隅) ・地元タクシー会社の協賛を得て、車内でのチラシ配布 (那須甲子) ・企業や関係機関とタイアップした広報活動 (日高、那須甲子、信州高遠、室戸、大隅) ・直接訪問等による事業案内の配布(学校訪問、校長会、イベント等) (全施設) ・友の会、ファミリー会員等へ主催事業案内の送付 (花山、那須甲子、妙高、大隅) ・事業実施報告書等を関係機関に送付 (全施設)	・未利用団体及び既利用団体で前年度利用しなかった団体に対して案内書送付 (日高、花山、那須甲子、信州高遠、山口徳地、夜須高原、諫早、大隅) ・対象やねらいに応じた広報資料の作成 (全施設) ・友の会、ファミリー会員等へ利用案内、会報等の送付 (花山、那須甲子、妙高、大隅) ・ポスター、オリジナルカレンダーの作成及び配布 (日高、花山、立山、曽爾、夜須高原、諫早) ・年賀状による挨拶(広報活動) (全施設) ・民間企業の協力を得た新聞広告 (室戸) ・新規利用団体獲得のアンケート調査の実施及び希望団体への利用案内の送付 (那須甲子) ・近隣駅等での看板、掲示板を設置しての広報活動 (花山、曽爾) ・地域のイベント会場等での広報活動 (吉備) ・直接訪問による広報活動(学校訪問、イベント、校長会等での利用説明) (花山、那須甲子、信州高遠、妙高、立山、曽爾、吉備、山口徳地、室戸、夜須高原、諫早、大隅) ・出張利用相談会の実施 (那須甲子、諫早)

法人としての取組
・独立行政法人国立少年自然の家の共通パンフレット、チラシの作成 ・法人の立ち上げに際し、関係機関へのパンフレット及びチラシの持参及び送付・全国生涯学習フェスティバル(山形県山形市)で、本部と3施設とが連携し、14施設のリーフレットとともに少年自然の家のパンフレットを配布 また、参加者の体験コーナーを設け、少年自然の家で出来るクラフトの一部として「ドングリ・ととろ」「竹トンボ」「ストーン・アート」等参加者の体験PR活動を実施等（本部、花山、那須甲子、妙高）

新規利用団体確保のための広報活動を含む。

イ 事業成果の普及・啓発の実績・・・別添資料9 参照

ウ ホームページの取り組み状況

主 催 事 業	受 入 れ 事 業
・アクセスカウンターを設置し、アクセス状況を把握 (山口徳地、室戸、諫早) ・事業案内(年間計画)を掲載 (全施設) ・事業の募集要項、予約状況等の提供 (日高、信州高遠、妙高、立山、若狭湾、曾爾、山口徳地、室戸、諫早、大隅) ・事業参加申込み、問い合わせへの対応 (曾爾、室戸、夜須高原) ・事業の画像や内容を掲載した事業報告 (日高、妙高、若狭湾、山口徳地、夜須高原)	・利用者のための施設情報の充実 利用 Q&A 施設及び施設周辺構の提供 施設の利用(予約)状況、 利用者の意見、感想の公開 など (日高、花山、信州高遠、妙高、立山、曾爾、夜須高原、諫早) ・ホームページからの利用申込書のプリントアウトとメールでの利用申込(仮受け)の受付 (日高、花山、信州高遠、室戸、曾爾、夜須高原、大隅) ・リンク数の増の取組 (日高、山口徳地、諫早) ・HP充実のための所内プロジェクトチームの設置 (妙高、大隅)

法人としての取組
・少年自然の家の「法人」としてのホームページの立ち上げ 少年自然の家の活動案内等 関連法令、事業の案内(主催事業案内、各種活動案内等)、自然の家ニュース 関連施設とのリンクの設定 意見、要望等の受付 等

新規利用団体確保のための広報活動を含む。

〔別添資料 16〕

予算、収支計画及び資金計画

1 収入の確保等の状況

(1) 自己収入の受入状況

実績： 88%

目標：100%

自己収入決算額 / 自己収入予算額

自己収入決算額 3,219千円 / 自己収入予算額 3,659千円

少年自然の家は、「国立少年自然の家利用規則」第6条の規定により施設利用に伴う対価を徴収しないとされている。

本年度の主な収入は、施設内の土地、建物等の貸付料となっている。

なお、本年度の自己収入の予算額は3,659千円であった。

13年度の自己収入決算額は、3,219千円であり自己収入予算額より、440千円の減となっている。

これは独立行政法人移行時における、土地等の評価額を基礎に貸付料を算出したためである。

(2) 外部資金の受入れ状況

受託研究事業 1件 2,391千円

独立行政法人教員研修センターから「環境教育担当教員講習会」の事業について委託があり実施したものである。

〔別添資料 １７〕

その他主務省令で定める業務運営に関する事項

１ 施設・設備の整備状況

（１）研修・宿泊施設等の新設、改修、増設計画等

施設設備の整備計画

〔施設整備費補助金事業〕

施設名	事業名	事業費(千円)
日 高	食堂棟等改修工事	44,456
花 山	浄水設備改修工事	154,299
那須甲子	那須ロッジ改修工事	103,091
妙 高	キャンプセンター炊飯棟地盤整備工事	19,868
立 山	厨房ドライシステム化改修工事	158,177
吉 備	食堂棟増築及び厨房内改修工事	128,246
山口徳地	活動広場、避難小屋等改修工事	88,910
夜須高原	防火池整備工事	75,330
施設整備費補助金事業計		772,377

〔施設整備資金貸付金事業〕

施設名	事業名	事業費(千円)
若狭湾	宿泊棟・研修棟内部改修工事	239,667
吉 備	宿泊ロッジ炊飯場等改修工事	163,330

夜須高原	キャンプ場整備工事	68,165
施設整備資金貸付金事業計		471,162

防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った整備実績

施設名	工 事 名 称	工 事 内 容
日 高	食堂棟等改修工事	食品庫の移設及び老朽化した壁の補修
	キャンプ場便所改修工事	トイレの水洗化
	木伐採作業	利用者駐車場周辺危険木及び枯枝伐採
	キャンプ場、野外炊飯場ごみ収納庫取設工事	生ゴミ処理機の収納庫新設
	農園防鹿柵取設工事	防鹿のための柵の取設
	宿泊棟内壁面補修及び塗装工事	経年による劣化部補修、塗装工事
	内線電話増設工事	活動用具庫への電話増設
	ドア取替工事	宿泊棟出入り口ドアの取替
花 山	浄水設備改修工事	前処理装置・急速濾過機・貯水層パネルタンクの新設等
	所内サイン板取設工事	所内の案内板等の更新
	建物内昇降機制御盤取替工事	昇降機制御盤取替作業等
	キャンプ場シャワー棟修繕	水量調整部等の修繕
	温水湯沸かし器整備・点検	モーター交換、機器内整備
	電気設備改修工事	P C ルームの照明、野外炊飯場コンセント工事等
	給水配管漏水修繕工事	漏水給水管の交換工事
	野外炊飯場埋設配線修復工事	ケーブルの復旧修繕
	管理棟蒸気トラップ装置交換	蒸気トラップ装置の交換工事
	浴室脱衣所畳替え	浴室脱衣所に化学畳の設置
	重油地下タンク配管改修	通気管の改修
那須甲子	那須ロッジ改修工事	管理棟、宿泊棟の内外装の全面改修及び流し台の設置
	浴室改修工事	扉、衝立の補修及び化粧洗面台の取設
	宿泊棟トイレドア修理	洗面室と便所の扉の補修等
	宿泊棟カーペット張替	宿泊室内通路のカーペットの張替え
	塩素滅菌設備新設工事等	自動塩素注入設備の新設
	ウエザーパネル設置工事等	ウエザー情報パネルの新設

信州高遠	炊飯棟屋根取設工事	炊飯場屋根取設工事
	水飲み場取設工事	屋外水飲場の新設
	農園整備	農園の新規整備
	施設周囲の環境整備	花の植栽等施設環境整備
妙 高	キャンプセンター炊飯棟地盤整備工事	芝の植栽整備等
	雪害、経年による各所修繕工事	雪囲（柱、羽目板、建具）、外灯、連絡橋手摺、外部床タイル、外壁クラック他の修繕
	融雪装置点検整備	屋根融雪装置の点検整備
立 山	厨房ドライシステム化改修工事	厨房のドライシステム化改修
	電動ダンパー取付工事	全熱交換機ダクトへの電動ダンパー取付工事
	宿泊棟コンセント回路改修工事	宿泊棟の電力回路を増設
	営火場砂利敷き均し工事	営火場砂利敷き均し
	機器防球工事	プレイホールの照明スイッチ、定温式熱感知器等へのカバー取付他
	カーペット張替	宿泊棟廊下等へのカーペット張替
	畳替え	宿泊棟和室の畳替え
	宿泊室内壁塗装工事	宿泊室の劣化部の補修及び塗装
	喫煙ルームの取設工事	喫煙ルームの新設
	照明設備取設工事	食堂内部の照明器具の取設
	案内表示等整備	食堂内案内サインの整備
	くつろぎ広場の設置	パーティションを用いたコーナの新設
若狭湾	落石防護柵設置工事	落石防護柵設置工事
	タイル張り替え工事	管理棟他タイル張替工事
	宿泊棟等連絡通路屋根防水工事	屋根防水工事
曽 爾	自家発電設備点検整備	設備点検整備
	キャンプ場トイレ周辺排水整備	排水路への土砂流入防止柵の設置
	クラフトホール～エコロジ通路 U 字溝取替	U字溝の取替
	プレイホール内ライン塗装	バレーコート他ラインの再塗装等
吉 備	食堂棟増築及び厨房内改修工事	食堂増築及び厨房のドライシステム化
	生活関連棟風呂脱衣場床改修	風呂脱衣場床板の張替
	宿泊棟内部塗装・畳表替え	宿泊室壁面塗替及び畳の表替え
	駐輪場取設工事	駐輪場の新設
	避難小屋柱補強工事	避難小屋柱の取替及び補強
	駐車場進入防止対策工事	ワイヤーゲートの新設

	気中開閉器交換工事	気中開閉器の取替
	憩いのコーナーの設置	子ども用の憩いのコーナーの設置
山口徳地	活動広場、避難小屋等改修工事	マウンテンバイクコースの補修、及びフィールドアスレチックコース遊具の改修と新設。避難小屋の窓等の改修。
	浴槽ろ過用六方弁取替	六方弁の取替
	食堂棟漏水補修工事	漏水個所の補修及び樋の高圧洗浄
	合併処理槽配管設備改修工事	合併処理槽の配管等取替及び補修
	駐輪場取設工事	駐輪場の新設
	空調機取設工事	学習棟へ空調機を整備
	喫煙コーナの取設	研修棟に喫煙コーナを整備
室戸	海浜活動センタープレイルーム空調設備工事	プレイルーム空調設備取付
	海浜活動センター浄化槽改修工事	浄化槽の改修
	防水他改修工事	第一ロッジ・第二ロッジ他防水改修
	連絡橋屋根防水修理工事	連絡橋屋根防水改修
	食堂棟ほか改修及び建具調整工事	食堂棟出入口、広場トイレドア改修及びキャンプ管理棟内装改修
夜須高原	防火池整備工事	監視カメラ設置等
	宿泊棟宿泊室の間仕切り取設工事	和室広間の間仕切り
	宿泊棟リーダー室改修工事	宿泊室を畳敷に改修
	宿泊棟宿泊室ドア改修工事	宿泊室入口扉新設、洋便器増設
	宿泊棟和室改修工事	壁面に木製ベット取設
	宿泊棟和室ドア改修工事	宿泊室ドア・レール等の改修
	夕日丘遊歩道等取付工事	丸太梯子・縄梯子及び木杭階段取設
	玄関屋根改修工事	玄関屋根の改修・洗浄
	玄関スロープ改修工事	スロープ幅員の拡大
	身障者用トイレ改修工事	入口の段差解消とドア改修
	玄関ドア改修工事	フロアヒンジの取替
	照明設備取設工事	集いの広場への夜間照明設備取設
諫早	渡り廊下床張替え	本館渡り廊下床全面張替
	厨房熱交換器取替工事	腐食による熱交換器交換
	プレイホール外壁工事	外壁の補修工事
	自家発電機整備・点検	機器オーバーホール
	ヤマネ紹介パネルユニット設置工事	パネルユニットの設置
	ウォーマー・コールドユニット増設	ウォーマー・コールドユニットの増設
	クラフト棟外壁改修工事	木壁の交換工事
大隅	海浜活動施設ステンレスゲート修繕	門扉の開閉不良修理
	キャンプ場管理棟手すり改修工事	手すり腐食のため改修

	高度洗浄装置逆浸透膜交換作業	逆浸透膜の交換
	ロッジ通信配線改修	通信回線の敷設
	避難小屋屋根修繕及び落下防止柵取設 工事	屋根の修繕及び宿泊棟パイプシャフト 内の落下防止柵取設
	草スキー場斜面補修	斜面の整地・芝張り
	ロッジ給水設備改修工事	配管分岐部改修
	マウンテンバイクコース補修	コースの整地・芝張り
	キャンプ場通路補修	通路の整地・芝張り
	重油タンク排気管改修	排気管の取替
	常設テント補修	キャンプ場損傷テントの補修
共 通	各所修繕工事	老朽化した施設・設備等の小規模修繕

運営費交付金で行った整備実績総額	182,812 千円
------------------	------------

を付した工事については、施設整備費補助金及び施設整備資金貸付金事業のため、総額から除く。

アンケートによる意見等を反映した整備実績

施設名	事 業 名
日 高	サインプレートの取設 キャンプ場トイレの水洗化
那須甲子	玄関ホール脇トイレ改修工事 宿泊棟の壁補修
信州高遠	トイレ配水管清掃 建具類(網戸等)の改修
若狭湾	クラフト室を海の学習に改修(調理台増設等)
曽 爾	ロビーに分煙コーナーの設置
室 戸	網戸やかぎ等の不良個所の速やかな修繕
夜須高原	炊飯場トイレへの照明取付
諫 早	宿泊棟ベランダにプライバシー保護のため隔て板設置

そ の 他

施設に対するアンケート結果

利用者の満足度 83.4%

【参 考】「施設・設備に対する利用者の満足度」について

施設・設備に対する利用者の満足度の調査は、主催事業の各参加者、また受入事業の場合は、各利用団体の代表者一人に最終日にアンケートに記入してもらい、提出されたものを集計した。

「施設・設備に対する満足度」については、次の4項目について、主催事業の場合は、「とても満足」「満足」、受入事業の場合は、「とても良い」「良い」と回答があった比率

『活動コースや学習(研修)室の施設・設備はいかがでしたか』

『レストラン(食堂)の施設・設備はいかがでしたか』

『宿泊室の施設・設備はいかがでしたか』

『浴室の施設・設備はいかがでしたか』

[利用者の声]

- ・トイレの異臭がひどい。(那須甲子)
- ・場所がわかりづらいので案内板を整備して欲しい。(吉備)
- ・宿泊棟の照明が暗い。(信州高遠)
- ・ロッジに簡易シャワーがあればもっとよい。(夜須高原)
- ・男女で部屋分けを行ったが、ベランダが一続きのため意味がなかった。

(諫早)

- ・ファミリー向きの部屋が整備されていて良かった。(室戸)

〔別添資料 １８〕

（２）高齢者及び身障者に配慮した施設整備の推進

施設設備の整備計画

〔施設整備費補助金事業〕

施設名	事業名	事業費(千円)
那須甲子	那須ロッジ改修工事（再掲）	１０３,０９１
妙 高	キャンプセンター炊飯棟地盤整備工事（再掲）	１９,８６８
立 山	厨房ドライシステム化改修工事（再掲）	１５８,１７７
吉 備	食堂棟増築及び厨房内改修工事（再掲）	１２８,２４６
施設整備費補助金事業計		４０９,３８２

〔施設整備資金貸付金事業〕

施設名	事業名	事業費(千円)
若狭湾	宿泊棟・研修棟内部改修工事（再掲）	２３９,６６７
吉 備	宿泊ロッジ炊飯場等改修工事（再掲）	１６３,３３０
夜須高原	キャンプ場整備工事（再掲）	６８,１６５
施設整備資金貸付金事業		４７１,１６２

高齢者及び身障者に配慮した整備実績

施設名	工事名	工事内容
花 山	浴室脱衣所の畳替え（再掲）	浴室脱衣所に化学畳の設置
	建物内昇降機制御盤取替（再掲）	昇降機制御盤取替作業等
那須甲子	那須ロッジ改修工事（再掲）	手すりの設置及び宿泊棟間のスロープ取設工事等
	可動式スロープの設置	本館正面玄関に可動式スロープを設置

	浴槽スロープ取設工事	身障者用浴槽スロープ取設
信州高遠	間仕切りカーテン取設	宿泊棟への間仕切りカーテンの取設
妙 高	キャンプセンター炊飯棟地盤整備工事 (再掲)	車椅子用舗道の整備
立 山	厨房ドライシステム化改修工事(再掲)	食堂のバリアフリー化
	身障者用駐車スペースの整備	玄関横に身障者用駐車スペースを整備
曾 爾	トイレ改修	洋式便座等への改修
吉 備	食堂棟増築及び厨房内改修工事 (再掲)	食堂のバリアフリー化
夜須高原	玄関スロープ改修 (再掲)	スロープ幅員の拡大
	身障者用トイレ改修 (再掲)	入口の段差解消とドア改造
諫 早	スロープ取設工事	渡り廊下へスロープの取設

運営費交付金にて行った整備実績総額	3,982 千円
-------------------	----------

を付した工事については、施設整備費補助金事業のため総額から除く。

アンケートによる意見等を反映した整備実績

施設名	事 業 名
那須甲子	身障者用浴槽スロープ取設工事 (再掲) ----- 那須ロッジ改修工事 (再掲) (ロッジ宿泊棟内スロープ及び連絡通路スロープ取設、洋式トイレの整備等)
立 山	身障者用駐車スペースの整備 (再掲)
吉 備	連絡通路の照明増設
夜須高原	身障者用トイレ改修 (再掲)

を付した工事については、施設整備費補助金事業である。

そ の 他

施設に対するアンケート結果

利用者の満足度 84.1%

【参 考】「施設・設備に対する利用者の満足度」について

施設・設備に対する利用者の満足度は、身障者等の団体に対するアンケートのみを集計した。

なお、内容は(1)平成13年度研修・宿泊施設等の整備状況 アンケートによる意見等を反映した整備実績と同じ。

[利用者の声]

- ・身障者専用駐車スペースを確保して欲しい。(立山)
- ・浴室入り口の段差を解消して欲しい。(吉備)
- ・夜になると明かりが少ない。(吉備)
- ・洋式トイレを増やして欲しい。(信州高遠・那須甲子・曽爾)
- ・風呂は使い易く大変良かったが、風呂用の車椅子を増やして欲しい。(諫早)
- ・畳の部屋を増やして欲しい。(日高・花山)

その他主務省令で定める業務運営に関する事項

1 人事管理の状況

職員に対する研修の実施実績

ア 各施設においては、以下の研修を実施した。

区 分	実 施 回 数	参加者数
職員としての資質向上を図る研修	職員研修等 8 回	1 8 5 名
活動プログラム習得の研修	活動プログラムの指導法研修 1 9 回	5 6 6 名
新任職員に対する研修	新任職員研修等 1 4 回	7 0 名
その他の研修	簿記・セクハラ研修等 6 回	1 0 3 名
	国立少年自然の家給食業務専門研修	2 9 名

イ 外部機関が実施した研修への参加状況は、以下のとおりである。

区 分	参加した研修の数	参加者数
野外教育に関する研修	野外活動指導者研修会等 3 1 回	1 0 2 名
社会教育に関する研修	社会教育主事研修等 7 回	1 1 名
国際性の涵養に関する研修	日独青少年教育施設指導者研修等 9 回	2 5 名
施設職員としての資質向上を図る研修	青少年教育施設職員研修会等101回	2 2 0 名
安全管理・健康管理に関する研修	安全管理者研修等 5 回	5 2 名
実務研修	会計研修等 2 5 回	6 5 名
接遇に関する研修	接遇研修等 4 回	2 3 名
その他の研修	セクシャルハラスメント防止講習等4回	4 名

関係機関等との人事交流の実施実績

ア 平成 13 年度採用者における人事交流の状況は、以下のとおりである。
(役員を除く)

国の機関	地方公共団体	青少年団体等	合 計
49 名	22 名	3 名	74 名

イ 平成 13 年度在職者における他機関からの人事交流の状況は、以下のとおりである。

(役員を除く)

国の機関	地方公共団体	青少年団体等	合 計
163 名	66 名	3 名	232 名

新情報ネットワークシステムの整備状況

独立行政法人移行と同時に、「新情報ネットワークシステム(人事・給与システム)」を構築し導入した。

本システムは、法人本部と各施設間をネットワークで結び、給与関係事務、職員の人事管理等を行い事務の効率化を図るものである。

常勤職員の数

平成 13 年度末における常勤職員数は、265 名である。